

2025 年度 事業報告書

公益財団法人 武田科学振興財団

本年度は、計画した全ての行事、出張等を実施した結果、全体予算の 100.0%を遂行した。

1. 科学技術に関する研究機関および研究者に対する研究助成（研究助成）

- (1) 武田報彰医学研究助成は、財団の理事・評議員等から推薦された、大学、研究機関の研究室立上げ3年未満の医学系研究者を対象に、世界をリードする医学の先端研究に対して、1件3,000万円10件計3億円を贈呈した。
- (2) ハイリスク新興感染症研究助成は、満55歳未満の研究者を対象に公募を行い、人類にとって脅威となりうるハイリスク新興感染症の対策に必要な基礎研究、臨床研究、疫学・社会医学的研究等の多様な研究に対して、1件1,000万円10件計1億円を贈呈した。
- (3) 生命科学研究助成は、満55歳未満の研究者を対象に公募を行い、生命科学分野における新たな発見に貢献し、当該分野の進歩・発展の基盤となる独創的な研究に対して、1件1,000万円35件計3億5,000万円を贈呈した。
- (4) 医学系研究助成は、医学系の満45歳未満の研究者を対象に公募を行い、医学分野の進歩・発展に貢献する独創的な研究に対して、1件200万円245件計4億9,000万円を贈呈した。[がん領域（基礎・臨床）71件、精神・神経・脳領域43件、感染領域25件、基礎63件、臨床43件]
継続助成は、本研究助成の2022年度および2023年度被助成者を対象に公募を行い、1件300万円41件計1億2,300万円を贈呈した。[がん領域（基礎・臨床）11件、精神・神経・脳領域8件、感染領域2件、基礎12件、臨床8件]
- (5) 薬学系研究助成は、薬学系の満45歳未満の研究者を対象に公募を行い、薬学分野の進歩・発展に貢献する独創的な研究に対して、1件200万円40件計8,000万円を贈呈した。

継続助成は、本研究助成の2022年度および2023年度被助成者を対象に公募を行い、1件300万円7件計2,100万円を贈呈した。

- (6) ライフサイエンス研究助成は、医学・歯学・薬学系を除く大学・学部や研究機関、高等専門学校に所属する満45歳未満の研究者を対象に公募を行い、生命科学分野の進歩・発展に貢献し、人類の健康増進に寄与する独創的な研究に対して、1件200万円41件計8,200万円を贈呈した。

継続助成は、本研究助成の2022年度および2023年度被助成者を対象に公募を行い、1件300万円7件計2,100万円を贈呈した。

- (7) 特定研究助成は、研究機関を対象に公募を行い、我が国の医学の発展に向け、研究機関が総力をあげて取り組む、研究機関内の複数の部署・研究室における共同研究に対して、1件3,800万円～5,000万円12件計5億円を贈呈した。

- (8) ビジヨナリーリサーチ助成（スタート）は、我が国の医学分野の進歩・発展に貢献する、将来に向けて夢のある斬新でチャレンジングな研究を対象に公募を行い、1件200万円42件計8,400万円を贈呈した。

継続助成（ホップ）は、2022年度および2023年度（スタート）被助成者を対象に公募を行い、1件500万円16件計8,000万円を贈呈した。

継続助成（ステップ）は、2022年度および2023年度（ホップ）被助成者を対象に公募を行い、1件1,000万円5件計5,000万円を贈呈した。

継続助成（ジャンプ）は、2022年度および2023年度（ステップ）被助成者を対象に公募を行い、1件3,000万円2件計6,000万円を贈呈した。

- (9) 理科教育振興助成は、小学校・中学校・高等学校（高等専門学校を除く）およびそれに準ずる機関の教員および職員を対象に公募を行い、小学校・中学校および高等学校の理科教育に貢献する研究または実践に対して、1件50万円81件計4,050万円を贈呈した。（小学校9件、中学校20件、高等学校52件）

以上、研究助成の贈呈金総額は23億8,150万円となった。

2025年11月12日（水）に2025年度研究助成金贈呈式を開催した。

2. 研究者および学生に対する奨学助成（奨学助成）

- (1) 外国人留学生に対する助成（外国人留学助成）

日本において医学・薬学などの医療分野で研究、研修する外国人留学生に対する留

学助成を行った。

本年度は、7 指定国/地域より 44 名、その他の国/地域より 7 名、計 51 名に留学助成を行った。2024 年度までに開始済みの外国人留学者の継続分を含めて留学助成金として総額 9,152 万円を支給した。

なお、1964 年に本事業を開始して以来、2026 年 3 月末までに助成した外国人留学者の総数は 49 カ国/地域から 1,991 名となった。

2025 年度に留学助成を行った来日外国人留学者数は以下の通りである。

〈2026年3月31日現在〉

国 別	2025年度 計画 (人数)	2025年度 承認 (人数)	実 績 (人数)				備 考
			本年度	前年度 繰越	次年度 繰上	計	
台 湾	4	5	5			5	
タ イ	8	8	8			8	
フィリピン	8	8	8			8	
韓 国	4	3	3			3	
中 国	8	8	8			8	
インドネシア	8	8	8			8	
ベトナム	4	4	4			4	
7カ国/地域 小計	44	44	44			44	
上記7カ国/地域以外	10	10	7			7	
総 計	54	54	51			51	

助成中の外国人留学者および元外国人留学者が集う第 3 回 Social Gathering を 2025 年 10 月 13 日 (月) に開催し、67 名 (国内 36 名、海外 31 名) が参加した。

(2) 医学部博士課程入学者に対する助成 (医学部博士課程奨学助成)

医学部医学科卒業見込学生および医学部医学科卒業者で、指定大学 8 校 (北海道大学、東北大学、東京大学、慶應義塾大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学) の医学 (系) 研究科博士課程基礎医学系の入学者に対し奨学助成 (年間 360 万円、最大 4 年間) を行った。

本年度は、2022 年度助成者 10 名、2023 年度助成者 13 名、2024 年度助成者 16 名、2025 年度助成者 16 名の計 55 名に総額 1 億 9,710 万円を奨学助成した。

なお、2025 年 5 月 21 日 (水) に 2025 年度医学部博士課程奨学助成認定式を開催し、その際、2023 年度継続助成者の中から、審査の上、優秀者 2 名に、各 50 万円、計 100 万円を追加で奨学助成した。

医学部博士課程奨学助成で、博士号取得者の累計が 108 名となり、そのうち 79 名が取得後も基礎研究機関に所属した。

(3) 海外研究留学者に対する助成（海外研究留学助成）

海外研究留学を希望する若手医師、かつ博士号保持者または博士課程在籍者を対象に、最長 4 年間助成する海外研究留学助成事業を行っている。本年度は、2022 年度留学者 8 名、2023 年度留学者 10 名、2024 年度留学生 10 名、2025 年度留学生 10 名の計 38 名となり、内、5 名が早期修了帰国（2022 年度留学生 2 名、2023 年度留学生 2 名、2024 年度留学生 1 名）したため、総額 2 億 1,328 万円を渡航費込みで助成した。

また、2026 年度の海外研究留学者について公募を行い、選考の結果、12 名を決定し、2026 年 2 月 9 日（月）に 2026 年度海外研究留学助成認定式を開催した。海外研究留学助成の累計採択者は 82 名となった。

3. 我が国の医学界における優れた研究者に対する褒賞（武田医学賞）

医学界において顕著な業績を挙げた研究者として、財団の理事・評議員等から推薦された 17 名の候補者について、9 名の選考委員による慎重かつ公正な選考の結果、2 名（下記参照）の褒賞を決定した。受賞者には、2025 年 11 月 12 日（水）開催の贈呈式において、武田医学賞（賞状、賞牌、楯）および副賞（1 件 3,000 万円）をそれぞれ贈呈した。引き続き、祝賀式を開催し 63 名が参加した。

片桐 秀樹 博士

受賞時職名：東北大学 教授

研究題目：臓器間ネットワークによる個体レベルでの代謝制御機構の解明

佐藤 俊朗博士

受賞時職名：慶應義塾大学 教授

研究題目：微小環境ニッチによる組織幹細胞制御機構の理解と応用

4. 科学技術の時流に合ったテーマによる国際シンポジウムの開催（国際シンポジウム）

本年度は下記 第 12 回 武田科学振興財団 薬科学シンポジウムを開催した。

テ ー マ : “ORGANOID 4D: Development, Disease, Diversity and Discovery”

組織委員長 : 武部 貴則 (大阪大学 教授/ シンシナティ小児病院 准教授/ 東京科学大学 教授)

組織委員 : 佐藤 俊朗 (慶應義塾大学 教授)

森本 充 (理化学研究所 生命機能科学研究センター チームディレクター (副センター長))

講 演 : 22 名 (国内 5 名、海外 17 名)

ポスター発表 (144 件)

会 期 : 2026 年 1 月 23 日 (金) ~24 日 (土)

場 所 : コングレコンベンションセンター (大阪市)

参加者 : 497 名

ポスター褒賞 : シンポジウムに応募したポスター発表者を対象に、選考委員会で決定し、褒賞金として 計 310 万円 (50 万円 (1 件)、40 万円 (1 件)、20 万円 (11 件)) を贈呈した。

5. 科学技術の振興に関する出版物の発刊（本草医書発刊）

本年度は以下 4 点を発刊した。

- ・唐写本説文木部残卷 (2025 年 6 月)
- ・杏雨書屋機関誌『杏雨』28 号 (2025 年 6 月)
- ・聖徳太子伝暦 影印・翻刻 (2026 年 2 月)
- ・宋版方氏家蔵集要方 (2026 年 3 月)

6. 本草医書、東洋学を中心とした図書資料の保管、整理、収集および公開（本草医書公開）

(1) 保管・管理

写真撮影 117, 194 枚、複写製本 551 冊、補修 332 点を行った。

(2) 公開

閲覧者は 305 名 (閲覧図書 2, 132 部、10, 430 冊)、複写依頼は 55 名 (複写部数

146部、3,159枚)、展示室見学者は6,496名(特別展示会を含む)であった。

<常設展示会(企画展)>

前年度に引き続き「杏雨書屋の古地図—地図の歴史と日本のかたち—」をテーマとした展示を一部展示替えをして2026年1月30日(金)まで開催した。(見学者5,862名)

「武田長兵衛と杏雨書屋」をテーマとした展示を2026年2月9日(月)から開始した。(見学者634名)

<特別展示会>

(i) 春季:4月7日(月)~4月28日(月)(休館日を除く17日間)「杏雨書屋の宗教文献Ⅱ—多言語・多宗教の世界」をテーマに開催した。(見学者:614名)

(ii) 秋季:10月14日(火)~12月25日(木)(休館日を除く54日間)「杏雨書屋所蔵の日記類」をテーマに開催した。(見学者:3,044名)

(3) 研究講演会

① 第51回研究講演会

日時:2025年4月12日(土)13:00~15:30

場所:武田科学振興財団 5階

演題:「古代チベット帝国と敦煌の漢人たち」

演者:岩尾 一史氏 (龍谷大学 教授)

演題:「モンゴル時代の敦煌とシルクロード」

演者:松井 太氏 (大阪大学 教授)

参加者:90名

② 第52回研究講演会

日時:2025年10月18日(土)13:00~15:30

場所:武田科学振興財団 5階

演題:「在村医家の日記に見る幕末期の地域医療—『本田覚庵日記』を中心に—」

演者:長田 直子氏 (山梨大学 非常勤講師)

演題:「医家の遊学と遊歴と—関屋文白『遊歴日記』を中心に—」

演者:山中 浩之氏 (大阪府立大学 名誉教授)

参加者:60名

(4) 貴重図書資料購入

曲直瀬道三書状 2点

医碯 1点
王氏医案 1点
医学指帰 1点
霄鵬先生遺著 1点
伊豆修善寺温泉細図 1点
金匱気血水記聞 1点
今村了庵稿 医道私擬学則 1点
導引活用伝 1点
新宮涼閣自筆稿本 コロリ記事 1点
こがらし竹斎 難病療治 1点
一流三臓之脉法・中風偏枯之論 2卷 1点
小野蘭山書状一通 1点
楓亭先生口授 附試調丸散方 1点
文政十三年 福井晋診察日誌 1点
診脈口訣 1点
傷寒論読十卷 1点
傷寒論読解七卷 1点
水谷豊文・義三郎書状 1点
畑黄山漢詩稿他貼交 1卷 1点
慶応義塾大学教授西野忠次郎宛医師書簡他一括 25点
坂本恒雄医博旧蔵書簡 1卷 1点
中神家所蔵資料 34点
橘黄年譜 1点
校正註方真本 易簡方論 1点
躋寿館園中東江寺会集品物目録 1点
後藤良山自筆書状幅 1点
楓亭病因考 1点
心印紺珠経 1点
新刊外科正宗 1点

<法人の運営体制の充実を図るための取組について>

当法人では、適正な法人運営を確保するため、定款や規程類を整備し、これらに基づき業務を遂行している。職員に対しては、業務執行理事が定期的に面談し、法令遵守や公益法人として求められる責任・倫理及び規程類について周知徹底し、適切な業務遂行に努めている。

理事会及び評議員会は、それぞれの法定権限と役割を踏まえ、法人運営に関する重要事項について適切な審議・決定及び監督を行っている。また、外部の知見・専門性を有する理事・監事を専任することにより、客観的かつ専門的な視点からの助言・監督が行われる体制としている。外部役員に対しては、事前資料の配布や必要な説明を行うなど、職責を十分に果たすための情報提供に配慮している。

業務執行及び経理処理においては、担当者と決裁者を分け、複数の職員が関与することで相互確認を行い、不適切な処理や誤りの防止に努めている。

助成事業の効果については、助成先から助成金の使用状況及び成果報告を受けるとともに必要に応じて意見聴取を行い、事業の実施状況や成果の把握に努めている。これらの結果や、役員、選考委員、専門家等の意見を踏まえ、社会的課題やニーズを把握し、次年度以降の事業改善や法人運営の質の向上に活用している。

以 上

事業報告附属明細書

別表(1) 2025年度研究助成 贈呈対象者一覧

別表(2) 2025年度来日外国人留学者(国/地域別人数)

別表(3) 2025年度外国人留学者明細

別表(4) 国/地域別外国人留学者数累計

別表(5) 2025年度医学部博士課程奨学助成者明細

別表(6) 2025年度海外研究留学者明細

別表(7) 第12回薬科学シンポジウムポスター褒賞受賞者明細

2025年度 研究助成 概要

武田報彰医学研究助成

大学、研究機関の研究室立上げ3年未満の医学系研究者を対象に、世界をリードする医学の先端研究への助成
(1件 3,000万円 10件)

ハイリスク新興感染症研究

人類にとって新たにパンデミックの脅威となりうる感染症の対策に必要な基礎研究、臨床研究、疫学・社会医学的研究等の多様な研究への助成
(1件 1,000万円 10件)

生命科学研究助成

満55歳未満の研究者を対象に、生命科学分野における新たな発見に貢献し、当該分野の進歩・発展の基盤となる独創的な研究への助成
(1件 1,000万円 35件)

医学系研究助成

満45歳未満の医学系研究者を対象に、医学分野の進歩・発展に貢献する独創的な研究への助成
(1件 200万円 245件)

医学系研究継続助成

2022年度および2023年度の医学系研究助成対象者で卓越した研究への継続助成
(1件 300万円 41件)

薬学系研究助成

満45歳未満の薬学系研究者を対象に、薬学分野の進歩・発展に貢献する独創的かつ先駆的な研究への助成
(1件 200万円 40件)

薬学系研究継続助成

2022年度および2023年度の薬学系研究助成対象者で卓越した研究への継続助成
(1件 300万円 7件)

ライフサイエンス研究助成

生命科学分野(医学・歯学・薬学を除く)の満45歳未満の研究者を対象に、生命科学分野の進歩・発展に貢献し、人類の健康増進に寄与する独創的な研究への助成
(1件 200万円 41件)

ライフサイエンス研究継続助成

2022年度および2023年度のライフサイエンス研究助成対象者で卓越した研究への継続助成
(1件 300万円 7件)

特定研究助成

研究機関を対象に、我が国の医学の発展に向け、研究機関内の複数の部署・研究室が精力的に取り組む共同研究への助成
(1件 3,800~5,000万円 12件)

ビジョナリーリサーチ助成(スタート)

我が国の医学分野の進歩・発展に貢献する、将来に向けて夢のある斬新でチャレンジングな研究への助成
(1件 200万円 42件)

ビジョナリーリサーチ継続助成(ホップ)

2022年度および2023年度のビジョナリーリサーチ助成(スタート)対象者で、卓越した研究への継続助成
(1件 500万円 16件)

ビジョナリーリサーチ継続助成(ステップ)

2022年度および2023年度のビジョナリーリサーチ継続助成(ホップ)対象者で卓越した研究への継続助成
(1件 1,000万円 5件)

ビジョナリーリサーチ継続助成(ジャンプ)

2022年度および2023年度のビジョナリーリサーチ継続助成(ステップ)対象者で卓越した研究への継続助成
(1件 3,000万円 2件)

理科教育振興助成

国内の小学校・中学校・高等学校(高等専門学校を除く)およびそれに準ずる機関の教員および職員を対象に、小学校・中学校・高等学校の理科教育に貢献する研究または実践への助成
(1件 50万円 81件)

合計594件 23億8,150万円

2025年度 贈呈対象者一覧

贈呈対象者は五十音順に記載しています(敬称略)
所属機関・職位は応募時のものです

武田報彰医学研究助成

氏名	所属機関・職位	研究題目
新 幸二	九州大学 大学院医学研究院 細菌学分野 教授	健康長寿を支える有益な腸内細菌の探索と機能解析
ALEV Cantas	京都大学 高等研究院 ヒト生物学高等研究拠点 (WPI-ASHBi) アレヴグループ 教授	高度なin vitroモデルシステムを用いたヒトおよび非ヒト霊長類初期胚発生の生物学的設計原理の解明
加藤 英明	東京大学 先端科学技術研究センター 構造生命機能工学分野 教授	生体物理化学刺激受容システムの理解とその応用-光・磁気・音・化学遺伝学技術の開発と高度化-
菊田 順一	神戸大学 大学院医学研究科 未来医学講座 免疫学分野 教授	革新的光イメージングによる生体組織修復機構の解明と線維化疾患克服への挑戦
小早川 高	関西医科大学 附属生命医学研究所 侵襲反応制御部門 教授	感覚医学・創薬原理による革新的治療技術の開発
小松 紀子	東京科学大学 総合研究院 難治疾患研究所 免疫制御学 教授	免疫-非免疫連関に基づく自己免疫疾患の病態解明
塩田 倫史	熊本大学 発生医学研究所 ゲノム神経学分野 教授	グアニン四重鎖が引き起こすプリオノイドタンパク質凝集による神経変性メカニズムの解明と創薬研究
高島 康弘	京都大学 iPS細胞研究所 未来生命科学開拓部門 幹細胞研究分野 教授	幹細胞を用いたヒト発生機構の解明
塚崎 雅之	昭和大学 歯学部 口腔生化学講座 教授	SDAC機構の理解に基づくがん進展制御戦略の確立
乗本 裕明	名古屋大学 大学院理学研究科 神経行動学グループ 教授	老化により睡眠が断片化する仕組みの解明

計10件

ハイリスク新興感染症研究

氏名	所属機関・職位	研究題目
有井 潤	神戸大学 大学院医学研究科 臨床ウイルス学 特命准教授	動物由来DNAウイルスの異種間伝播リスク評価および治療戦略の構築
金 倫基	北里大学 薬学部 微生物学教室 教授	腸内マイクロバイオームを活用した呼吸器系ウイルス感染症の重症化予防法の確立
白川龍太郎	国立感染症研究所 細胞化学部 室長	ゲラニルゲラニル転移酵素3型を分子標的とする新興真菌感染症治療薬の開発
谷口 怜	東京大学 大学院医学系研究科 国際保健学専攻 国際生物医科学講座 発達医科学 准教授	ブニヤウイルスの非構造蛋白質 NSs の機能解析と新興ブニヤウイルスのワクチン開発、弱毒化因子探索、抗体療法の基盤整備
塚崎 智也	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 構造生命科学研究室 教授	多剤耐性菌対策を目指した新規ペプチド阻害剤の構造基盤の解明
富田 野乃	東京大学 大学院新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻 分子医科学分野 准教授	哺乳類ミトコンドリアタンパク質合成系を標的とした抗生物質の作用機序
橋口 隆生	京都大学 医生物学研究所 ウイルス制御分野 教授	ヒト細胞ディスプレイ系によるMERSコロナウイルス変異体の中和抗体逃避機構の解析と抗体デザイン

氏名	所属機関・職位	研究題目
原田 壮平	東邦大学 医学部 微生物・感染症学講座 准教授	多剤耐性グラム陰性桿菌感染症の大規模症例集積と多面的治療効果評価システムの構築
宮原 麗子	国立感染症研究所 感染症疫学センター 国際研究室 室長	多剤耐性結核菌の遺伝的多様性と宿主免疫応答に基づく感染拡大リスクの評価
宮本 翔	国立感染症研究所 感染病理部 主任研究官	重症熱性血小板減少症候群感染者検体のマルチオミクス解析による治療標的探索とその実証

計10件

生命科学研究助成

氏名	所属機関・職位	研究題目
井上 直和	福島県立医科大学 医学部附属生体情報伝達研究所 細胞科学研究部門 教授	ファゴサイトーシス様の精子取り込み機構SEALの発動により制御される受精メカニズムの解明
今井 祐記	愛媛大学 プロテオサイエンスセンター 病態生理解析部門 教授	アンドロゲンによる骨格筋制御の分子メカニズム解明
今西 未来	京都大学 化学研究所・生体機能設計化学研究領域 准教授	細胞内核酸高次構造プロファイルシステムの構築
大久保範聡	東京大学 大学院農学生命科学研究科 水圏生物科学専攻 水族生理学研究室 教授	メスの性的受容性の制御機構に関する新規仮説の実証
大戸 梅治	東京大学 大学院薬学系研究科 薬学専攻 蛋白構造生物学教室 准教授	ウイルス感染およびその制御機構の構造科学的解明
小川 正晃	滋賀医科大学 医学部 生理学講座 生体システム生理学部門 教授	粘り強さの神経メカニズム
片山 耕大	名古屋工業大学 大学院工学研究科 生命・応用化学専攻・片山研究室 准教授	昼夜視における光感度差を制御する視物質ダークイベント発生機序の分子機構解明と医療応用への新規アプローチ
加藤 一希	東京科学大学 総合研究院 免疫機構研究ユニット テニュアトラック 准教授	RIG-I様受容体による自己・非自己RNAの識別とウイルス応答戦略の解明
門脇 淳	大阪大学 大学院医学系研究科 神経内科 特任講師	多発性硬化症に関連するmitophagy促進分子の制御性T細胞での役割の研究
川内 大輔	名古屋市立大学 大学院医学研究科 腫瘍・神経生物学分野 教授	小児脳腫瘍の克服に向けた脳内微小環境の変化とエピゲノムの解析
河野 洋治	岡山大学 資源植物科学研究所 植物免疫デザイングループ 教授	ペアNLN型免疫受容体の進化解析とその応用
神田 真司	東京大学 大気海洋研究所 海洋生命科学部門 生理学グループ 准教授	一度きりの繁殖後に死亡するマハゼを用いた、繁殖が死を引き起こすメカニズムの解明
久万亜紀子	大阪大学 大学院医学系研究科保健学専攻 特任准教授(常勤)	オートファジーによるリソソーム恒常性の維持
倉持 光	自然科学研究機構 分子科学研究所 協奏分子システム研究センター 階層分子システム解析研究部門 准教授	革新的単一分子超高速分光で迫る光合成初期過程における揺らぎの役割
佐々木江理子	九州大学 理学研究院生物学科数理生物学研究室 准教授	真核生物に保存されたエピジェネティクス制御を介した植物特異的な環境応答メカニズムの解明
佐藤 伸	岡山大学 学術研究院環境生命自然科学学域 佐藤研究室 教授	皮膚コラーゲンの真の生産者の解明とヒト細胞への応用
佐原 真	浜松医科大学 再生医療学講座 教授	心臓幹/血管内皮/神経膠細胞と心発生・増殖因子mRNAを用いた3次元培養心臓オルガノイドによる病的心筋再生治療法の開発
鈴木 基高	大阪大学 大学院生命機能研究科脳工学研究室 教授	代謝型受容体が意識の生成に果たす役割の解明

氏名	所属機関・職位	研究題目
高岡 洋輔	東北大学 大学院理学研究科 化学専攻 有機化学第一研究室 准教授	植物透過性低分子タグ連結プローブによる植物ライブイメージングの革新
竹内 裕子	大阪大学 大学院生命機能研究科 生理学研究室 准教授	嗅線毛内分子挙動がヒト嗅覚アウトプットに与える影響と原理機構の解明
竹岡 彩	理化学研究所 脳神経科学研究センター 運動回路可塑性研究チーム チームリーダー	歩行運動モデルを用いた脊髄回路による運動適応のメカニズムの解明
谷本 博一	横浜市立大学 大学院生命ナノシステム科学研究科 物質システム科学専攻 生物物理部門 准教授	細胞小器官の細胞内力学
千葉 志信	京都産業大学 生命科学部 先端生命科学科 タンパク質バイオジェネシス研究室 教授	難翻訳配列を内包した生命システムの解明
泊 幸秀	東京大学 定量生命科学研究所 高度細胞多様性研究センター RNA機能研究分野 教授	種の存続を支えるpiRNAのゆらぎと継承：トランスポゾンとの終わりなき攻防戦
中務 邦雄	名古屋市立大学 大学院理学研究科 理学情報専攻 代謝生化学研究室 教授	ミトコンドリア代謝酵素の異所局在に対する細胞応答の解析
西山 朋子	京都大学 大学院理学研究科 生物科学専攻 ゲノム多元統御学分科 教授	異種コヒーレンス複合体によるゲノム高次構造制御機構の理解
日野信次朗	熊本大学 発生医学研究所 細胞医学分野 准教授	ビタミンB2によるD-アミノ酸代謝調節を介した細胞制御機構の解明
松尾 拓哉	北里大学 理学部 分子生物学講座 教授	概日時計における核の役割：巨大単細胞緑藻を用いた検証
松本 直之	国立遺伝学研究所 神経回路構築研究室 特任助教	In vivo二光子イメージングによる自発活動依存的な神経回路再編の機構解明
水沼 正樹	広島大学 大学院統合生命科学研究科 生物工学プログラム 健康長寿学研究室 教授	ホルミシスによる寿命延長機構
三原田賢一	熊本大学 国際先端医学研究機構 幹細胞プロテオスタシス学講座 特別招聘 教授	非哺乳類をモデルとした哺乳類赤血球脱核機構の解明
宮崎 牧人	理化学研究所 生命機能科学研究センター 構成的細胞生物学研究チーム チームリーダー	再構成と光操作で紐解く細胞遊走の頑強性を実現する分子メカニズム
村越 秀治	自然科学研究機構 生理学研究所 脳機能計測・支援センター 准教授	記憶を構成するシナプス集団の情報コード様式の解明
谷口 俊介	筑波大学 下田臨海実験センター 発生物学研究室 准教授	外的環境に依存した消化管活動の解析：“飲み込む”を考える
吉田 聡子	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 バイオサイエンス領域 植物共生学研究室 教授	寄生植物の宿主認識と寄生器官分化の分子基盤の解明

計35件

医学系研究助成

<がん領域(基礎)>

氏名	所属機関・職位	研究題目
石野 貴雅	岡山大学 学術研究院医歯薬学域(医) 腫瘍微小環境学分野 助教	腫瘍浸潤T細胞の時空間解析に基づいたがん免疫療法の長期奏効機序の解明
越前佳奈恵	大阪公立大学 大学院医学研究科 病態生理学 特任研究員	背景肝および肝がん組織の微小領域における環境特異的な細胞間相互作用の解明と治療抵抗性の克服：組織環境地理学の確立
榎本 将人	福井大学 学術研究院医学系部門 血管統御学講座 生体制御学ユニット 特命教授	がんの発生を決定づける組織の空間不均一性の解明
大津 甫	九州大学病院 別府病院 外科 助教	循環血液中uscfdNAにおける癌種特異的なG4構造ゲノム領域の検出

氏名	所属機関・職位	研究題目
大原 悠紀	名古屋大学 高等研究院/大学院医学系研究科病理病態学講座生体反応病理学 YLC助教	網羅的遺伝子発現・代謝プロファイリングを用いた悪性中皮腫の新たな分類法に基づく予防・治療法の開発
奥村 元紀	国立がん研究センター 先端医療開発センター 免疫TR分野 特任研究員	甲状腺未分化がんにおける腫瘍微小環境の解明と新規治療戦略の確立
長田 直希	自治医科大学 分子病態治療研究センター 領域融合治療研究部 助教	抗がん剤耐性獲得におけるnon-coding RNAの機能解明
垣内美和子	東京大学 大学院医学系研究科衛生学分野 助教	高度免疫逃避性ニッチを標的とした胃がん新規治療標的の探索
加藤真一郎	京都大学 がん免疫総合研究センター・がん免疫多細胞システム制御部門 助教	がん免疫療法抵抗性を決定づけるT細胞疲弊化の運命決定機構の解明
昆 彩奈	東京大学 医科学研究所 先端医療研究センター 血液・腫瘍生物学分野 准教授	加齢に伴うクローン性造血から白血病への進展メカニズムの解明
重田 昌吾	東北大学 大学院医学系研究科 婦人科学分野 准教授	多層オミックス解析に基づくがん代謝の実験的検証によるARID1A変異をバイオマーカーとした卵巣明細胞癌の新規治療開発研究
七條 敬文	熊本大学 大学院生命科学研究部 血液・膠原病・感染症内科学講座 助教	TGF- β 経路及び下流シグナルを標的とした成人T細胞白血病に対する新規治療薬の開発
清水 亜麻	大阪大学 大学院医学系研究科 産科学婦人科学講座 助教	空間的トランスクリプトミックスを用いた、高異型度漿液性卵巣癌のがん微小環境における発癌メカニズムの解明
末弘 淳一	杏林大学 医学部薬理学教室 助教	LAT1発現の特性解明による腫瘍血管を標的とした新たながん治療戦略の創出
鈴木光太郎	神戸大学 大学院医学研究科 外科系講座 腎泌尿器科学分野 特定助教	前立腺癌のenzalutamide耐性獲得におけるlegumainの役割の解明
須摩 桜子	筑波大学 附属病院 血液内科 病院助教	T細胞リンパ腫皮膚病変における毛包とクローン性造血由来炎症細胞の相互作用によるニッチ形成メカニズムの解明
高田紗奈美	東京科学大学 高等研究府 免疫・分子医学研究室 プロジェクト助教	造血細胞の分化異常による造血器腫瘍発症メカニズムの解明
高見 浩数	東京大学 医学部附属病院 脳神経外科 講師	頭蓋底脊索腫の標的治療探索：マルチオミクス統合解析による個別化医療への展開
チャップマン オーウェン	名古屋市立大学 大学院医学研究科 脳神経科学研究所・腫瘍・神経生物学分野 助教	小児がんにおける腫瘍性環状外染色体DNA (ecDNA) 増幅の臨床的意義
霍田 裕明	国立国際医療研究センター 研究所 糖尿病研究センター 分子糖尿病医学研究部 研究員	モデルマウスの網羅的解析を用いた糖尿病関連大腸癌の発症機構の解明
徳増 美穂	岡山大学 学術研究院医歯薬学域(医学系) 免疫学分野 助教	c-MYCの核内移行に着目した腫瘍微小環境の代謝制御の解明
中井 一貴	国立がん研究センター 先端医療開発センター 共通研究開発分野 特任研究員	がん種横断的表現型「染色体不安定性」の理解から目指すがん悪性化機構の全容解明
中山 寛尚	広島国際大学 保健医療学部 医療技術学科 准教授	軸索誘導因子netrin-1シグナル破綻による大腸癌発癌メカニズム解析
鍋倉 幸	愛知県がんセンター 研究所 腫瘍免疫応答研究分野 分野長	ナチュラルキラー細胞のがん免疫を活性化する創薬研究開発
西村 友美	京都大学 大学院医学研究科 乳腺外科学 客員研究員	乳腺におけるder(1;16)陽性クローン拡大に起因する発癌メカニズムの解明
仁平 直江	聖マリアンナ医科大学 大学院 医学研究科 応用分子腫瘍学 特任講師	cGAS-STING経路の制御機構の解明と新たな癌免疫療法の確立

氏名	所属機関・職位	研究題目
原 知明	大阪大学 大学院医学系研究科 疾患データサイエンス学 特任助教	環状RNAベースのCARマクロファージ療法による がん免疫記憶強化のための基盤技術開発
比嘉 綱己	東京科学大学 高等研究府 制がんストラテジー研究室 助教	p57陽性がん幹細胞を標的とした胃がんの新規治 療戦略の確立
平塚 徹	大阪国際がんセンター 研究所腫瘍増殖制御学部 主任研究員	膵がんの増殖シグナル依存性の変化に基づく治療 戦略の創出
方 震宙	東北大学 加齢医学研究所 腫瘍生物学分野 助教	分裂期キナーゼAurora AのE3活性による遺伝性 腫瘍原因遺伝子産物BRCA1の中心体制御機構の解 明
堀口 晴紀	熊本大学 大学院生命科学研究部(医) 分子遺伝学講座 特定事業研究員(客員講師)	カロリー制限による免疫老化抑制の分子機構と抗 腫瘍免疫における意義解明
前之園良一	大阪医科薬科大学 医学部 泌尿生殖・発達医学講座 泌尿器科学教室 助教	国内最大の日本人膀胱がんコホートから探索する 新規膀胱がん治療
村上 圭吾	東北大学 大学院医学系研究科 病態病理学分野 講師	癌細胞と癌関連線維芽細胞の相互作用に焦点をあ てた大腸癌線維性癌間質分類の病態解明
山口垂斗夢	神戸大学 大学院保健学研究科 運動機能障害学分野 前重研究室 博士研究員	がん治療後の腫瘍の再成長および治療抵抗性獲得 におけるアポトーシス小体の役割
山田 康隆	千葉大学 大学院医学研究院 泌尿器科学 助教	前立腺癌肝転移機構の解明と新規治療戦略の開発
若橋香奈子	熊本大学 国際先端医学研究機構 特任助教	好中球を介した骨髄線維症制御機構の解明
若松 英	東京医科大学 免疫学分野 講師	分子の挙動に基づくLAG-3を介したT細胞抑制機 序の解明とチェックポイント阻害抗体の効果判定 への応用
渡邊 潤	新潟大学 脳研究所 脳神経外科 助教	小児脳幹部腫瘍におけるノンコーディングRNA構 造変異の機能解明

計38件

<がん領域(臨床)>

氏名	所属機関・職位	研究題目
青木 孝浩	千葉大学 大学院医学研究院 免疫細胞医学 助教	抗体治療へのiPS細胞由来NKT細胞追加併用療法 の開発
新井 康之	京都大学 医学部附属病院 検査部(臨床病態検査学)・細胞療法センター・ 細胞療法科 講師・診療科長	細胞療法運用学の確立～予測・層別化・最適化に よる細胞療法成績の向上
石橋 史明	国際医療福祉大学 市川病院 消化器内科 講師	ピロリ菌未感染時代における胃癌スクリーニング 最適化のための非侵襲的リスク層別化手法の開発
奥野 圭祐	東京科学大学 医歯学総合研究科 消化管外科学分野 助教	エクソソームリキッドバイオプシー技術を用いた、 大腸癌術後の微小残存病変の検出
加藤 毅人	名古屋大学 医学部附属病院 呼吸器外科 病院講師	キチン結合型GLUT1によるMinimal residual diseaseを検出できるEV糖鎖バイオマーカーの臨 床応用
雁金 大樹	東京科学大学 大学院医歯学総合研究科血液内科学 准教授	AI-FACSを利用した多発性骨髄腫及び類縁疾患の 至適予後予測システムと新規治療法の確立
河合 瞳	筑波大学 医学医療系 診断病理 助教	予後予測を目的とした、AIによる肺腺癌浸潤部の 病理診断の実装化
浄住 佳美	静岡県立静岡がんセンター ゲノム医療推進部 遺伝カウンセリング室 認定遺伝カウンセラー	生殖細胞系列BRCAバリエーション膵癌症例の疫学・ 遺伝情報の研究-家族性膵癌登録制度全国調査
小西 義延	京都大学 大学院医学研究科 血液内科学 特定病院助教	空間的プロテオミクスを用いた多発性骨髄腫 CAR-T療法における治療抵抗性機構の解明

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
佐藤 一仁	国立国際医療研究センター 外科 医師	ステージII大腸がん治療切除後の再発予測方法の開発を目指したゲノム解析
白石 卓也	群馬大学 大学院医学系研究科 総合外科学講座 消化管外科学分野 助教	Paradoxicalな臨床事象に着目した大腸癌における免疫チェックポイント阻害薬作用機序の解明
菅原弘太郎	東京大学 医学部附属病院 胃食道外科 助教	食道扁平上皮癌における腫瘍代謝・腫瘍免疫微小環境の統合的解析
杉山 栄里	国立がん研究センター 東病院 呼吸器内科 医員	EGFR遺伝子異常陽性肺がんにおけるICI効果予測マーカー探索
滝 哲郎	国立がん研究センター 東病院 病理・臨床検査科 医員	がん腫横断的な腫瘍内不均一性の定量的解析法の確立と新規治療標的の探索
田口 歩	東京大学 医学部附属病院 女性診療科・産科 助教	卵巣明細胞癌の機能的代謝依存性を標的とした新たな治療戦略の開発
谷本 梓	金沢大学 がん進展制御研究所 先端がん治療学 助教	肺大細胞神経内分泌癌 (LCNEC) におけるサブタイプ分類に基づく細胞表面タンパク質を標的とした新規治療戦略の確立
玉利 慶介	大阪大学 大学院医学系研究科放射線治療学 講師	細胞外小胞を用いた肺がん脳転移リスク評価と新規治療標的の探索
中嶋正太郎	福島県立医科大学 医学部 消化管外科学講座 准教授	免疫療法最適化に向けたHER2陽性胃癌の腫瘍免疫微小環境解析と新規併用治療法の提案
西別府敬士	京都府立医科大学 消化器外科 病院助教	胃切除ならびに胃切除後低血糖が睡眠に与える影響についての検討
西山菜々子	大阪公立大学 大学院リハビリテーション学研究科 作業療法学専攻 助教	緩和ケア病棟入院中がん患者のADL維持のための複合的リハビリ介入のプログラム開発と実施可能性検証
NGUYENTHI PHUONGTHAO	鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科 腫瘍学講座 分子口腔病理学分野 助教	核輸送受容体標的化によるがん免疫療法感受性向上システムの開発
長谷川佳那	九州大学病院 顎口腔外科 (口腔病理) 助教	新規YAPシグナル標的因子を介した上皮間葉転換誘導機序の解明～口腔癌の遠隔転移をモデルとして～
波多野裕一郎	大阪医科薬科大学 医学部 病理学教室 講師	細胞分化マーカーの多重蛍光イメージングを用いて、腫瘍微小環境を可視化し、ホウ素中性子捕捉療法 (BNCT) の治療抵抗性を克服するための標的を探索する
花 大洵	埼玉医科大学 総合医療センター 脳神経外科 助教	ゲノム・メチローム解析に基づく脳腫瘍の時間的・空間的不均質性 (heterogeneity) と腫瘍悪性化制御機構の解明
原武 直紀	大分大学 医学部呼吸器・乳腺外科学講座 助教	MUC1-Cを新規標的とした非小細胞肺癌に対する免疫チェックポイント阻害剤の耐性克服と効果向上を目指した革新的研究
半田 良憲	県立広島病院 呼吸器外科 部長	微小免疫環境の網羅的プロファイリングによる、肺腺扁平上皮癌における免疫療法の模索
深川 彰彦	東京大学 大学院医学系研究科 人体病理学・病理診断学分野 助教	プロテオーム解析を主軸としたマルチオミックス解析によるELOC変異型腎細胞癌の分子病態の解明と新規診断戦略の確立
福田 洋典	東京女子医科大学 泌尿器科 助教	単一細胞解析による免疫チェックポイント阻害剤のバイオマーカーと新規治療標的の探索
森 裕太郎	新潟大学 大学院医歯学総合研究科 産婦人科 助教	卵巣明細胞がんの抗がん剤抵抗性領域における細胞間ネットワーク機構の解明と治療標的の同定
森田 覚	慶應義塾大学 医学部外科学教室 (一般・消化器) 助教	大腸癌肝転移における線維化誘導性免疫変容と転移再発メカニズムに関する研究

氏名	所属機関・職位	研究題目
山本 隆広	熊本大学 大学院生命科学研究部 脳神経外科学講座 助教	膠芽腫医療の革新に向けたRNA修飾ヌクレオシドの網羅的解析によるエピトランスクリプトーム全容解明
山本 美穂	東海大学 医学部外科学系消化器外科学 上部消化管班 准教授	消化器癌の周術期管理に特化した新規アプリケーションの開発とデジタル療法としての臨床応用
米村 敦子	がん研究会 がん研究所 発がん研究部 研究助手	腹水微小環境リプログラミングによる腹膜播種治療戦略の開発

計33件

<精神・神経・脳領域>

氏名	所属機関・職位	研究題目
上田(石原) 奈津実	東邦大学 理学部 生物分子科学科 准教授	加齢に伴う記憶固定化障害の実体解明-オルガネラ動態に着目して
芦田 真土	京都府立医科大学 大学院医学研究科 脳神経内科学 助教	EBV感染と多発性硬化症の病態進行：マルチオミクス解析による治療応用の検討
安藤めぐみ	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第二部 室長	アストロサイト間の非細胞死性カスパーゼ3活性化の伝播によるシナプス増強の制御機構解明
石井 聖二	群馬大学 大学院医学系研究科 機能形態学分野 講師	一次繊毛がシナプス形成に及ぼす影響の解析
五十棲規嘉	奈良県立医科大学 医学部 未来基礎医学 助教	ALS原因タンパク質の異常凝集を阻害する亜鉛フィンガードメインの作用メカニズムの解明
板橋 貴史	昭和大学 発達障害医療研究所 講師	精緻機能マッピングによる自閉スペクトラム症の中脳ドーパミン神経回路の検討
井原 康貴	愛媛大学 医学部附属病院 臨床研究支援センター 臨床研究推進部門 特任講師	パーキンソン病の疫学とリスク因子の探索：日本全国規模のデータベースから睡眠薬の影響を探索
岩瀬 元貞	大阪公立大学 大学院医学研究科 神経生理学教室 特任助教	内側中隔による海馬脳波の制御メカニズムの解明
内上 寛一	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第四部 リサーチフェロー	抗Aβ抗体医薬に伴うARIA発症メカニズムの解明とリスク低減に向けた新規治療戦略の開発
太田 桂輔	東京大学 大学院医学系研究科 脳神経医学専攻 神経生化学分野 助教	側頭葉皮質における感覚統合と感覚優位性の神経機構
奥村 啓樹	名古屋大学 大学院医学系研究科 精神疾患病態解明学 特任助教	ASTN2欠失を起点として小脳特異的オルガノイドにより解き明かす精神疾患小脳病態
笠井 昌俊	北里大学 医学部生理学(山田単位) 講師	意識と無意識の視覚情報の読解
川谷 圭司	大阪大学 大学院医学系研究科 小児科学 特任助教	iPS細胞由来間葉系幹細胞を用いたダウン症候群の神経発達障害に対する神経保護作用のメカニズム解明と治療法開発
河野 友裕	大阪大学 大学院医学系研究科 神経内科学講座 特任助教(常勤)	血小板由来細胞外小胞(pEVs)に着目した脳梗塞後の新規病態解明
菅 博人	名古屋大学 大学院医学系研究科総合保健学専攻 バイオメディカルイメージング情報科学 医用画像工学講座 助教	緩和時間差を考慮した磁化率分離法による非侵襲アミロイドベータダイレクトイメージング法の開発
國澤 和生	藤田医科大学 大学院医療科学研究科 レギュラトリーサイエンス分野 准教授	幼若グリア集団と神経細胞との相互作用に着目したうつ病の病態解明
窪田 悠力	藤田医科大学 精神・神経病態解明センター 神経行動薬理学研究部門 助教	カリウムチャンネルに注目した薬物依存症における意思決定障害の新規治療戦略の創出

氏名	所属機関・職位	研究題目
坂田 昌嗣	名古屋市立大学 大学院医学研究科 こころの発達医学寄附講座 講師	地域医療の不眠症治療を革新する一医師向け短時間認知行動療法教育プログラムとサポート体制の確立
坂本 悠記	日本医科大学 脳神経内科学教室 准教授	発症4.5時間以内の急性期ラクナ梗塞患者に対する最適な急性期治療を確立するための多施設共同研究
篠原 充	国立長寿医療研究センター 研究所 分子基盤研究部 副部長	N末端の短いAβt-42の脳内の領域特異性から着想したアルツハイマー病の発症機序の全容解明
嶋岡 可純	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 病態生化学研究部 リサーチフェロー	神経前駆細胞の増殖と分化を制御する新規分子基盤とその破綻による病態の解明
杉原 圭	九州大学 大学院医学研究院生体制御学講座 系統解剖学分野 助教	数理モデルと実験の融合による髄鞘形成の力学的制御機構の解明
祖父江 顕	名古屋市立大学 大学院医学研究科 臨床薬理学分野 薬剤部 病院助教	アルツハイマー病における早期発見バイオマーカーの探索と新規治療法の開発
竹内 絵理	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 遺伝子疾患治療研究部 科研費研究員	ジストロフィン欠損による情動行動制御機構破綻メカニズムの解明
竹村 晶子	藤田医科大学 医学部発生学講座 講師	甲状腺ホルモンを介した母体-胎児コミュニケーションから神経発達障害を理解する
田宗 秀隆	順天堂大学 大学院医学研究科 精神・行動科学 准教授	領域特異的オルガノイドによる双極症の神経細胞・回路病態解明
樽谷 愛理	東京都医学総合研究所 脳・神経科学研究分野 認知症プロジェクト 主席研究員	線維構造から紐解くタウオパチーの病態解明
津野 祐輔	金沢大学 医薬保健研究域 医学系 統合神経生理学 助教	覚醒睡眠タイミングを制御する概日リズム出力機構の解明
中井 信裕	神戸大学 大学院医学研究科 生理学分野 特命講師	社会性感覚情報に対する自閉症の生体ネットワーク研究
野田 貴大	九州大学 大学院 医学研究院 疾患情報研究分野 助教	行動評価と音表現マップ解析による幻聴の神経基盤
袴田 優子	富山大学 医学部 臨床心理学・認知神経科学講座 教授	AI導入型オンライン認知バイアス緩和治療法の有効性評価：ランダム化比較対照試験
林 周一	川崎医科大学 解剖学 准教授	女兒てんかん原因遺伝子PCDH19による脳神経回路の形成制御
阪東 勇輝	浜松医科大学 医学部医学科 器官組織解剖学講座 助教	ミトコンドリア機能の局所制御による大脳皮質神経回路形成機構
坂野 聡美	藤田医科大学 国際再生医療センター 技術員	腸内環境が導く神経回路再構成の可能性：オルガノイド移植を用いた解析
引間 卓弥	獨協医科大学 先端医科学センター 認知・記憶研究部門 助教	多感覚情報を統合し記憶を構築する脳システムの理解とアルツハイマー病における記憶障害改善メカニズムの解明
堀金慎一郎	名古屋大学 環境医学研究所 神経系分野 講師	神経シナプスマッピングによる発達障害の病態解明および治療探索
本田 諒	岐阜大学 大学院連合創薬医療情報研究科 創薬科学専攻 准教授	異常型タンパク質の超高感度検出法の開発
松川 敬志	東京大学 医学部附属病院 脳神経内科 助教	副腎白質ジストロフィーの病態解明と新規治療への応用
松田 烈士	関西医科大学 附属生命医学研究所侵襲反応制御部門 研究員	代謝制御におけるグリア依存的な仕組みと意義
三木 崇史	秋田大学 大学院医学系研究科細胞生理学講座 教授	シナプス前部アクティブゾーン分子集合体の固相-液相遷移による新たなシナプス伝達・可塑性の理解

氏名	所属機関・職位	研究題目
八木田 薫	国立精神・神経医療研究センター 臨床検査部 上級専門修練医	剖検脳タウオリゴマーの形態・生化学的解析から タウオパチーの病態に迫る
彌富 泰佑	横浜市立大学 大学院医学研究科 生理学教室 特任助教	ヒト知見に根差す前頭葉AMPA受容体操作による 気分障害の神経基盤解明
柳田 圭介	東京慈恵会医科大学 分子生物学講座 講座担当教授	脳血管内皮細胞にユニークなスフィンゴ脂質分子 種の生理的意義

計43件

< 感染領域 >

氏名	所属機関・職位	研究題目
青木弘太郎	東邦大学 医学部 微生物・感染症学講座 助教	効率的な薬剤耐性菌院内伝播対策へ資する院内ゲ ノム疫学解析のための逐次全ゲノム解析タイム リーフードバック手法の開発とその検証に関す る研究
伊東 孝政	北海道大学病院 皮膚科学講座 助教	寄生虫感染が誘導する遊走2型自然リンパ球によ る皮膚免疫機構の解明
稲垣 知希	藤田医科大学 研究推進本部 感染症研究センター ウイルス感染動態研究部門 助教	EBウイルス関連腫瘍特異的な治療用AAVベク ターの開発
今井 優	信州大学 先鋭領域融合研究群 バイオメディカル研究所 生体分子イノベーション部門 助教(特定雇用)	グラム陰性細菌を選択的に殺菌する抗生物質の開 発
上野 圭吾	国立感染症研究所 真菌部 主任研究官	肺常在性記憶 Th2 細胞による肉芽腫形成を介した 新規感染制御機構の解析
牛島 由理	筑波大学 医学医療系 微生物学研究室 助教	メチシリン耐性遺伝子のドナー特性の解明
内田 宅郎	大分大学 グローカル感染症研究センター 講師	HBV感染を起点に生じる肝細胞内変化の解明
上養 義典	慶應義塾大学 医学部臨床検査医学 専任講師	ステルス型バンコマイシン耐性腸球菌の新規耐性 機序の証明とその臨床的リスク評価
尾鶴 亮	福岡大学 医学部 微生物・免疫学講座 講師	新規創薬ターゲットとしての人獣共通感染症病原 体の特異的代謝経路の特定と意義の解明
神山 長慶	大分大学 医学部 感染予防医学講座 准教授	ジカウイルスが引き起こす神経変性疾患の増悪化 に寄与するケモカインの同定およびそれに基づく 新規予防戦略の開発
河合 聡人	藤田医科大学 医学部 微生物学講座 講師	ベータラクタム系抗菌薬への高度耐性化に関わる 酵素と細菌ゲノムの変異特定と酵素構造化学解析
河島 圭吾	国立感染症研究所 ウイルス第二部 主任研究官	肝臓内CD8+ T細胞応答を規定するメカニズムの 解明と抗HBV核酸医薬の開発
北奥 喜仁	大阪大学 感染症総合教育研究拠点 感染症・生体防御研究部門 病原体認識研究チーム 細菌生理学研究ユニット 特任助教(常勤)	肺炎球菌における細胞壁合成と莢膜合成のクロス トーク - 複数代謝経路を標的にしたアンビデント な抗生物質の開発に向けて
坂口 翔一	大阪医科薬科大学 医学部 微生物学・感染制御学 助教	新興RNAウイルスを迅速かつ高感度で検出する、 病原体サーベイランスツールとワンヘルスアプ ローチ体制の構築
佐々木永太	国立感染症研究所 インフルエンザ・ 呼吸器系ウイルス研究センター 主任研究官	抗酸化物質グルタチオンの一過性減少によるワク チン効果増強機序の解明と、それを応用した有効 性の高いインフルエンザワクチン開発
佐藤 佳	東京大学 医科学研究所 感染・免疫部門 システムウイルス学分野 教授	コウモリコロナウイルスのヒトへの異種間伝播原 理の解明
七戸 新太郎	大阪大学 微生物病研究所 分子ウイルス分野 助教	ヒト呼吸器オルガノイドを用いた高病原性鳥イン フルエンザウイルスの性状解析

氏名	所属機関・職位	研究題目
秦 咸陽	理化学研究所 生命医科学研究センター 細胞機能変換技術研究チーム 上級研究員	ケミカルバイオロジー技術を用いたHBV DNAインテグレーションによる転写制御機構の解明と創薬研究
菅田 謙治	熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター ゲノミクス・トランスクリプトミクス学分野 講師	ゲノム欠損型HTLV-1の発生に関する免疫学的解析
鈴木 紗織	九州大学 大学院医学研究院基礎医学部門 病態制御学講座ウイルス学分野 助教	コロナ後遺症動物モデルの開発及び発症機序の解明
千原康太郎	国立感染症研究所 治療薬・ ワクチン開発研究センター 研究員	バクテリオファージがもつ、細菌の防御システム回避機構の解明と新規治療法への応用
哲翁 ふみ	長崎大学 大学院 医歯薬学総合研究科 口腔病原微生物学分野 助教	歯周病原性細菌Prevotella intermediaの病原因子解析と分泌機構探索
日尾野隆大	北海道大学 One Healthリサーチセンター 統合データベース部門 准教授	動物由来インフルエンザウイルスのパンデミックポテンシャル規定因子の探索
藤井 祐至	長崎大学 高度感染症研究センター ウイルス生態研究分野 助教	ウイルス特異的アプタマーを用いたウイルス感染動態の可視化および薬剤輸送システムへの応用
八木 一馬	慶應義塾大学 医学部 感染症学教室 助教	腸内及び呼吸器系マイクロバイオーームが肺非結核性抗酸菌症の病態進展に及ぼす影響の解明

計25件

< 基礎 >

氏名	所属機関・職位	研究題目
泉 真祐子	大阪大学 大学院医学系研究科 呼吸器・免疫内科学 特任助教	脳一末梢臓器間の双方向性神経伝達による末梢免疫記憶形成機構の解明
板井 駿	東北大学 大学院医工学研究科 分子病態医工学 阿部研究室 助教	動脈硬化性腎動脈狭窄患者CT画像を基にした生理的に収縮・弛緩可能なiPS由来人工分枝血管の開発による動脈硬化再現と病態解明
今村 亮俊	千葉大学 医学部 疾患システム医学 特任助教	非コードRNA分解から紐解く慢性炎症
梅根 隆介	長崎大学 大学院 医歯薬学総合研究科 内臓機能生理学 助教	オプトジェネティクスによる腎交感神経刺激法を用いた腎保護メカニズムの解明と新規腎臓病治療戦略の開発
大橋 夏子	滋賀医科大学 内科学講座 糖尿病内分泌・腎臓内科 助教	加齢に伴う代謝調節機構におけるmiR-494の役割の解明と加齢関連疾患の新規治療戦略の探索
大山友香子	藤田医科大学 医学部 生体構造学 分子病態解析学 講師	粘膜型IgA産生形質細胞の長期生存化をターゲットとしたIgA腎症新規治療戦略の探索
奥新 和也	東京大学 医学部附属病院 感染制御部 特任講師	排出型胆汁酸トランスポーターを起点とするMASLD・MASHの病態解明
奥平 准之	帝京大学 医学部生化学講座 助教	糖質コルチコイドの概日リズム維持による加齢性疾患の予防
奥山 一生	理化学研究所 生命医科学研究センター 免疫転写制御研究チーム 研究員	新規生体内インタラクトーム解析技術の開発とその有用性の検討
尾崎 陽介	広島大学病院 腎臓内科(透析内科) 特任助教	腹膜中皮細胞の細胞周期攪乱に着目した、腹膜傷害の指標及び治療法の探索
小野寺俊晴	大阪大学 大学院医学系研究科 肥満脂肪病態学寄附講座 助教	アディポネクチンに着目した生理的・病的線維形成機構と制御に関する革新的研究
小原 乃也	京都大学 医生物学研究所 統合生体プロセス分野(近藤研究室) 特定助教	樹状細胞は如何にして、特定の病原体に対する最適な獲得免疫応答を駆動するか? -病原体特化型樹状細胞という概念の導入による新しい理解-

氏名	所属機関・職位	研究題目
金森 耀平	熊本大学 大学院生命科学研究部 分子薬理学講座 助教	肝細胞鉄代謝によるエピゲノム制御が慢性肝炎における組織修復性免疫応答の誘導に果たす意義の解明
上川 泰直	広島大学 大学院医系科学研究科 生化学第一講座・分子細胞情報学研究室 助教(テニユアトラック)	動脈恒常性維持におけるESCRT-III/VPS4経路の機能解明
河合 穂高	岡山大学 学術研究院医歯薬学域 口腔病理学分野 研究准教授	長期生着MSCを用いた骨形成不全症の新規細胞治療法の開発
久富 理	福井大学 学術研究院医学系部門 分子生体情報学 助教	核移行因子KPNA1を介した核小体の細胞恒常性維持機構の解明
呉羽 拓	東京大学 大学院医学系研究科 免疫学 講師	T細胞の分化・機能と恒常性維持におけるエピトランスクリプトミクス制御の生理的役割の解明
小出 周平	東京大学 医科学研究所 幹細胞治療研究センター 幹細胞分子医学分野 特任助教	造血幹細胞の加齢変容とClusterin陽性細胞除去による造血系再活性化の検証
古賀沙緒里	熊本大学 発生医学研究所 組織幹細胞分野 助教	シングルセル解析に基づく造血幹細胞の発生機構の解明と再現培養法の構築
国分 貴徳	埼玉県立大学 大学院保健医療福祉学研究科 理学療法学科 リハビリテーション学専修 国分研究室 准教授	損傷前十字靭帯を治癒に導く細胞ダイナミクスの解明
小島 秀信	京都大学 医学部附属病院 肝胆膵・移植外科 特定病院助教	腸内細菌叢が肝移植における拒絶に果たす役割の解明
小塚智沙代	理化学研究所 生命医学研究センター 疾患エピゲノム遺伝研究チーム 研究員	卵子の脂質制御による次世代の代謝疾患予防法の開発
後藤佐和子	東北大学病院 腎臓・高血圧内科/腎臓内科学分野 助教	慢性腎臓病における性差の解明と性差特異的な治療ターゲットの探索
酒井 大史	愛媛大学 プロテオサイエンスセンター 病態生理解析部門 助教	男性ホルモンによる骨格筋の性差形成メカニズムの解明
坂上 倫久	愛媛大学 大学院医学系研究科 心臓血管・呼吸器外科学 講師	心不全発症を加速する時空間的かつ細胞特異的ユビキチン修飾ダイナミクスの包括的理解
佐々木晴香	東北大学 大学院歯学研究科 歯科口腔麻酔学分野 助教	うま味受容体を標的とした肺線維症進行抑制メカニズムの解明と新規治療戦略の創出
佐々木文之	日本医科大学 微生物学・免疫学 助教	細胞骨格調節タンパク質ゲルゾリンの細胞外における病態生理学的意義とその分子機序の解明
佐藤 成	東京大学 大学院新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻 先進分子腫瘍学分野 特任研究員	エピジェネティック制御因子ASXL1の切断による細胞制御機構の解明
塩井(青木) 成留実	帝京大学 福岡医療技術学部・医療技術学科 講師	構造生物学解析による完全ヒト型抗蛇毒抗体の開発
志摩 喬之	奈良県立医科大学 医学部 生化学講座 中村修平研究室 助教	リソソーム損傷応答におけるTFEBの活性化機構と生理的意義の解明
島田 龍輝	熊本大学 発生医学研究所 染色体制御分野 助教	メス哺乳類の生殖寿命を決定づける相反する分子機構の関連性
杉原真衣子	大阪大学 大学院歯学研究科 生化学講座 助教	新規骨代謝共役機構オステオコンタクトを基盤とした革新的骨疾患治療法の創出
善方文太郎	自治医科大学 医学部 生理学講座 統合生理学部門 講師	ゼブラフィッシュを用いた骨格筋の速筋化、遅筋化誘導因子の探索
高谷 健人	慶應義塾大学 医学部 形成外科 助教	IR700を用いた光免疫療法による革新的皮膚セノリシス治療開発
田口 顕正	久留米大学 医学部 質量分析医学応用施設 講師	SGLT2阻害薬を用いた非侵襲的迷走神経刺激による制御性B細胞分化促進と免疫抑制効果の検証

氏名	所属機関・職位	研究題目
竹本 一政	関西医科大学 附属生命医学研究所 ゲノム編集部門 助教	どのマイナースプライセオソームsnRNAが配偶子形成に重要なのか？
田中 愛	信州大学 医学部医学科 循環病態学教室 助教	AM-RAMPシステムを基盤としたリバースOnco-Cardiologyの展開
塚本 庸平	名古屋大学 大学院医学系研究科 分子細胞化学/ 機能分子制御学 特任助教	DLK1 EGF上のO結合型糖鎖伸長の脂肪細胞分化における機能の解明
堤 真人	名古屋大学 大学院医学系研究科 附属神経疾患・ 腫瘍分子医学研究センター 細胞情報統合解析部門 データ駆動生物学研究室 特任助教	深層生成モデルを用いた発生過程における形態定 量化手法の開発
堂腰 達矢	旭川医科大学 内科学講座・消化器 地域連携医学講座 特任助教	皮膚炎と腸管免疫の相互作用：ヒアルロン酸代謝 を介した新たなメカニズム
永井 正義	大阪公立大学 大学院医学研究科 医化学 助教	新規直鎖状ユビキチン結合タンパク質の機能解析
中尾 周	東海大学 医学部医学科 基礎医学系 生体機能学領域 応用分子生理学研究室 特任准教授	心拍数の動物種差決定因子の解明と治療応用
仲田 浩規	公立小松大学 保健医療学部 臨床工学科 教授	高解像度三次元解析による精巣内ウェブの空間 的制御メカニズムの解明
中村 達朗	酪農学園大学 獣医学群獣医学類獣薬理学ユニット 講師	花粉食物アレルギー症候群の病態進行メカニズム の解明
名和田隆司	山口大学 医学部附属病院 第二内科 助教	2型リアノジン受容体安定化による革新的な自己 免疫疾患治療法の開発
西中 崇	近畿大学 医学部薬理学教室 講師	細胞老化と2型サイトカインの制御による特発性 肺線維症に対する治療法の確立
西野 共達	京都大学 大学院医学研究科 循環器内科学 助教	心筋再生を促進する分子基盤の解明：in vivo Perturb-seqを活用した心筋細胞内遺伝子機能モ ザイク解析
西端 友香	北海道大学 大学院保健科学研究院 保健科学部門 病態解析学分野 病理・免疫検査学研究室 講師	抗PS/PT抗体が誘導する好中球細胞外トラップの 血栓形成への関与
丹羽 史尋	自治医科大学 医学部 薬理学講座 分子薬理学部門 助教	GPCRヘテロ二量体によるGタンパク質及びアレ スチン活性化の分子機構解明及び制御技術の開発
福永 航也	理化学研究所 生命医科学研究センター ファーマコゲノミクス研究チーム 上級研究員	PK-phenome解析を活用した薬剤の反応性や有害 事象の個人差に対する薬物動態関連遺伝子バリア ントの影響の解明
船本 雅文	徳島大学 医学部医学科薬理学分野 准教授	鉄が制御するエピジェネティック時計を介した心 臓老化制御機構の解明
北條 宏徳	東京大学 大学院医学系研究科 疾患生命工学センター臨床医工学部門 准教授	ヒト人工骨髄の創製
細見 謙登	三重大学 医学部附属病院 形成外科 助教	老化による創傷治癒遅延の解明に、局所と全身を 切り分ける手法から迫る
松井 翔	大阪大学 大学院医学系研究科 腎臓内科学 医員	腎老化におけるメガリンの役割とリソソーム機能 維持の意義
松尾 和哉	熊本大学 発生医学研究所 ゲノム神経学分野 助教	ヒストンバーコード仮説に基づく中枢神経系の細 胞運命決定機構の解読
南 聡	大阪大学 大学院医学系研究科 遺伝学 特任助教(常勤)	細胞老化機構を基軸とした慢性腎臓病の病態解明 と治療応用
宮本 佑	大阪大学 免疫学フロンティア研究センター・大学 院医学系研究科 免疫細胞生物学 特任助教(常勤)	組織常在マクロファージによる肝炎症疾患の空間 依存的な発症制御
森 俊輔	大阪大学 微生物病研究所 免疫化学分野 助教	ネオセルフを標的とした自己免疫疾患の根治的治 療標的の探求

氏名	所属機関・職位	研究題目
山下 祐	東京慈恵会医科大学 整形外科講座 助教	Fam102a を標的とする骨粗鬆症治療の革新的アプローチ
山本屋 武	日本大学 医学部 内科学系 糖尿病代謝内科学分野 助教	Trk-fused gene (TFG) のグルコース応答性発現誘導機構とその代謝制御における役割の解明
由利 俊祐	国立長寿医療研究センター 研究所 研究推進基盤センター 実験動物管理室 室長	キメラ動物を用いた解析による細胞-臓器-個体連関を介した老化の機構解明
吉田 幸祐	神戸大学 大学院保健学研究科 パブリックヘルス領域 (医学部保健学科 検査技術科学専攻 柱本研究室) 講師	生体リズムを介した細胞周期調節が関節リウマチの病態に与える影響の解明
米山 鷹介	大阪大学 大学院医学系研究科 器官システム創生学 講師	トランスクリプトームの水平伝搬の操作体系構築と生理的意義の理解

計63件

<臨床>

氏名	所属機関・職位	研究題目
相川 忠夫	順天堂大学 医学部附属順天堂医院 循環器内科 助教	ATTR心アミロイドーシスが疑われる高齢患者の至適診断法の確立とリスク層別化を目指した多施設レジストリ研究
青木 義紘	長崎大学病院 高度救命救急センター 救急・国際医療支援室 助手	日本固有蛇による蛇咬傷に対するPCR診断法の有用性に関する検討
今井 仁	東海大学 医学部医学科総合診療学系健康管理学 講師	クローン病における病原性共生菌を狙った新規診断・治療法の開発
植木 康志	信州大学 医学部附属病院 循環器内科 助教	侵襲的冠微小循環評価を用いた野生型トランスサイレチン心アミロイドーシスの病態解明
大沢 樹輝	沖中記念成人病研究所 研究員	SGLT2阻害薬を用いた心腎症候群の予後改善のための個別化腎保護戦略の確立
大塚憲一郎	大阪公立大学 大学院医学研究科 循環器内科学 准教授	冠動脈壁リモデリングを介したプラーク不安定化における単球の炎症機序の探索
小笠原辰樹	九州大学 大学院医学研究院 病態制御内科学 学術振興会特別研究員PD	浸透率の低い遺伝性腫瘍の発生機構解明
荻野 学芳	産業医科大学 第3内科学 助教	血中細胞外小胞の好中球エラスターゼに着目した新規バイオマーカーの開発
奥野 泰史	聖マリアンナ医科大学 循環器内科学 助教・医長	術前造影CT画像を用いた深層学習アルゴリズムによる経皮的動脈弁置換術 (TAVI) 後脳梗塞リスク予測モデルの構築
小坂聡太郎	大分大学 医学部 消化器内科学講座 助教	患者由来オルガノイドを用いた5-ASA不耐の発生メカニズムの解明
小野 隆裕	秋田大学 大学院 医学系研究科 脳神経外科学講座 講師	テクスチャ解析と分子解析を統合した、髄膜腫の悪性度診断法の刷新
片岡 直也	富山大学 大学院医学薬学研究部 内科学第二 助教	Omics解析と空間的電位時相差解析を用いた心室頻拍・細動の統合的理解
鎌倉 令	国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門不整脈科 医長	新たな画像解析手法を用いた心不全患者における心室性不整脈発生に関与する不整脈基質の同定に関する研究
北里 梨紗	北里大学 医学部 総合診療医学 助教	心不全の個別化治療に向けたin vitro機械的減負荷モデルの開発
近藤 威	東北大学 大学院歯学研究科 次世代歯科材料工学講座 助教	細菌由来DNAを標的とした新たな菌周病予防技術の開発

氏名	所属機関・職位	研究題目
齋藤 拓矢	東北大学 大学院医学系研究科 呼吸器内科学分野 助教	肺組織炎症を持続させる単球-マクロファージエコシステムの解明: COPD慢性炎症制御に向けた細胞特異的治療基盤の開発
佐藤 信一	東北大学 大学院 医学系研究科 発生・発達医学講座 小児病態学分野 助教	新生児敗血症の早期発見に向けた挑戦: ビデオカメラを用いた末梢灌流指数の有効性評価
佐藤 裕樹	新潟大学 医歯学総合病院 消化器内科 助教	好酸球性胃炎の胃領域特異的トランスクリプトームに注目したモニタリング方法の提唱と最適な治療法の選択
三小田亜希子	国立成育医療研究センター 女性総合診療センター 女性内科 医師	本邦の妊娠糖尿病の病態解明と効果的治療戦略の開発
白石 泰之	慶應義塾大学 医学部 循環器内科 助教	新規心不全薬の効果比較: 個別化医療に向けた薬物反応性およびリスク層別化のための統合オミックス解析
住友 直文	慶應義塾大学 医学部小児科学教室 専任講師	心電図とArtificial Intelligenceの融合: リアルワールド3万データ学習を用いた、新たな小児心疾患診断人工知能ツールの開発
妙中 浩紀	大阪大学 大学院 医学系研究科 生体統御医学講座 麻酔・集中治療医学教室 助教	片肺換気における人工呼吸管理の革新: 駆動圧を指標とした個別化換気戦略の確立
田中 敦史	佐賀大学 医学部 循環器内科 准教授	次世代型心不全管理プログラムの開発
田中 準一	昭和大学 歯学部 口腔病態診断科学講座 口腔病理学部門 准教授	シェーグレン症候群モデル唾液腺オルガノイドによる創薬システムの開発
寺尾 亮	東京大学 大学院医学系研究科外科学専攻 眼科学教室 助教	細胞老化をターゲットとした早期加齢黄斑変性に対する治療薬の探索検討
鳥羽 敬義	神戸大学 大学院医学研究科 内科学講座 循環器内科学分野 助教	オミックス統合解析を用いて下肢閉塞性動脈疾患の新たな治療ターゲットを発見する
中島沙恵子	京都大学 大学院医学研究科 炎症性皮膚疾患創薬講座 特定准教授	多様な炎症性皮膚疾患の免疫プロファイル解析と新規治療ターゲットの探索
中島 啓裕	熊本大学病院 循環器内科 心血管治療先端医療寄付講座 特任助教	日本型の医療実態に応じた心原性ショックの治療法および循環器集中治療施設への病院間転院搬送モデルの確立
中西 弘毅	東京大学 医学部附属病院 検査部 講師	左房機能解析による塞栓源不明脳梗塞の病態解明と再発予測
鍋田 健	北里大学 医学部 循環器内科学 助教	JROAD-DPCデータを用いた劇症型心筋炎の予後因子同定と治療アルゴリズム構築
沼田 玄理	東京大学 アイソトープ総合センター RI教育研究推進部門 特任助教	miRNAと関連した心不全新規診断方法の創出
馬場 隆太	広島大学病院 内分泌・糖尿病内科 助教	免疫関連有害事象における非活性型ACTHの構造解析と免疫学的・生理学的活性の評価
平川 陽亮	東京大学 医学部附属病院 腎臓・内分泌内科 111研究室 助教	超音波画像解析を用いた、経皮的腎生検の手技成功及び合併症の事前予測方法の開発
藤居 泰行	東京女子医科大学 医学部 歯科口腔外科学講座 口腔顎顔面外科学分野 助教	薬剤関連顎骨壊死の空間的理解による新たな治療戦略への挑戦
藤原 直人	三重大学 医学部附属病院 消化器病センター 助教	MASLDにおける細胞間相互作用による発癌メカニズムの解明と発癌予防ワクチンの開発
三角 香世	九州大学病院 循環器内科 医員	左室補助人工心臓植込み患者における右心不全発症リスク因子の探索: オミックス解析と生理的指標を用いた集学的アプローチ

氏名	所属機関・職位	研究題目
三ツ浪真紀子	国立成育医療研究センター 社会医学研究部 リサーチアソシエイト	大規模コホートデータを用いた思春期における経口避妊薬使用と閉経後の骨疾患との関連、及び症例集積研究による思春期のジェノゲスト使用が骨密度に与える影響
宮部 千恵	聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター 診断治療法開発 創薬部門 講師	溶連菌由来分子による血管炎誘導機構の解明と臨床応用への挑戦
本池 総太	京都大学 iPS細胞研究所 臨床応用研究部門 池谷真研究室 特命助教	ヒトiPS細胞由来顎骨アセンブロイドを用いた新規顎骨再建法の開発
山中修一郎	東京慈恵会医科大学 内科学講座 腎臓高血圧内科 助教	糸球体過剰濾過に基づくCKD進行の病態解析—Six2-ATTAC9マウスモデルで探る新たな腎保護戦略
吉岡 華子	大阪大学 大学院医学系研究科 神経皮膚症候群の 治療法の開発と病態解析学寄附講座(皮膚科寄附 講座) 寄附講座講師	神経線維腫の重症に関わる因子の早期診断、早期治療法の開発
米田 和弘	大阪大学 医学部附属病院 高度救命救急センター 医員	単量体CRP(mCRP)を基軸とした熱傷後の免疫応答と血管内皮障害の解明
渡邊 元己	大阪公立大学 大学院医学研究科外科学講座 肝胆膵外科 病院講師	膝液検出蛍光プローブの周術期管理への応用と新規蛍光プローブの開発

計43件

医学系研究継続助成

<がん領域(基礎)>

氏名	所属機関・職位	研究題目
奥村 和弘	千葉県がんセンター 研究所 がんゲノムセンター 実験動物研究部 研究員	樹状細胞制御因子PAK1を標的としたがん免疫抑制解除の機構解明
鈴木 秀文	横浜市立大学 大学院医学研究科 分子生物学 講師	がん遺伝子特異的なMED26ボディ形成によるがん遺伝子の統合的発現促進機構の解明
田中 伸之	慶應義塾大学 医学部泌尿器科学教室 専任講師	尿路上皮癌におけるがん免疫療法の逃避機構と時空間シングルセル解析
仁科 隆史	東邦大学 医学部医学科生化学講座病態生化学分野 講師	Interleukin-11産生大腸線維芽細胞を介した大腸がん形成機構の解明
林 眞理	京都大学 大学院医学研究科IFOM-KU国際共同ラ ボ(親講座:分子生体統御学講座) 客員准教授	細胞周期依存性抗がん剤の薬理効果に資するM期テロメア脱保護の分子機構の解明
村田 憲治	札幌医科大学 医学部附属研究所免疫学研究所分子 医学部門/病理学第一講座 特任助教	腫瘍反応性TCRをプローブとして用いた新たな肉腫抗原同定法の開発
吉田 彩舟	東邦大学 理学部 生物分子科学科 動物発生制御学 研究室 講師(研究室主宰者)	薬剤耐性がん細胞の克服に立脚したHedgehogシグナル阻害薬の創出

計7件

<がん領域(臨床)>

氏名	所属機関・職位	研究題目
河原 大輔	広島大学 大学院医系科学研究科 放射線腫瘍学 講師	医用画像を基盤としたがん微小環境解析を組み込んだAI創薬システム: MediGen PharmAI
熊谷 尚悟	国立がん研究センター 研究所 腫瘍免疫研究分野 研究員	肝胆道系腫瘍における免疫抑制機構に関する詳細検討
千場 隆	がん研究会 がん研究所 発がん研究部 研究員	がん幹細胞を標的とする核酸医薬を用いた新規治療戦略の開発
島田 周	東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 分子腫瘍医学分野 助教	肝がんの分子免疫分類に基づいたサブタイプ特異的治療の開発

計4件

<精神・神経・脳領域>

氏名	所属機関・職位	研究題目
阿部 欣史	慶應義塾大学 医学部 先端医科学研究所 脳科学研究部門 講師	構造可塑性から読み解く抗うつ薬の作用機序解明
雨森 智子	京都大学 高等研究院ヒト生物学高等研究拠点 雨森グループ 研究員	不安の神経メカニズムの解明を目指した霊長類線 条体ストリオソーム細胞活動の計測技術の確立
吉川 貴子	東北大学 大学院 医学系研究科 発生発達神経科学分野 講師	脆弱X症候群の性差を規定する脳発生機構の解明
中條 岳志	熊本大学 大学院生命科学研究部(医) 分子生理学講座 准教授	神経の「tRNA修飾病」を治療する基盤技術の開拓
戸田 浩史	筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 助教	ストレスによって誘発する睡眠機構の解明
西本 祥仁	慶應義塾大学 医学部 神経内科 専任講師	核内非翻訳RNA制御によるALS患者由来運動 ニューロン変性抑制の試み
牧野 祐一	東京大学 国際高等研究所 ニューロインテリジェンス国際研究機構 特任講師	幼若期ストレスによる注意障害の神経メカニズム 解明と治療法創出
山崎 礼二	自治医科大学 医学部解剖学講座組織学部門 講師	オリゴデンドロサイトを標的とした虚血性白質障 害の治療法開発

計8件

<感染領域>

氏名	所属機関・職位	研究題目
幸脇 貴久	熊本大学 大学院 生命科学研究部 免疫学講座 助教	代謝異常と抗ウイルス自然免疫とが結びつく新た なメカニズムの解明
竹島 功高	東京大学 医科学研究所 感染・免疫部門 ウイルス病態制御分野 特任研究員	ヘルペスウイルスの抗ウイルス応答抑制における 新規メカニズムの解明

計2件

<基礎>

氏名	所属機関・職位	研究題目
Wiriyasermkul Pattama	岩手大学 農学部 応用生物化学科 准教授	アミノ酸トランスポーターの構造情報を基盤とし た遺伝性疾患シスチン尿症薬物治療のための病態 解明への助成
近藤 直幸	関西医科大学 附属生命医学研究所 分子遺伝学部門 講師	新規非典型オートファジー経路を介した免疫恒常 性調節機構の解明
齋藤 康太	秋田大学 大学院医学系研究科 情報制御学・実験治療学 教授	小胞体出芽部位(ERES)形成機構の解析
貞廣威太郎	慶應義塾大学 医学部 循環器内科 助教	トランスクリプトーム統合解析による難治性心不 全の病態機構解明と、革新的治療法の開発
佐藤 亮太	千葉大学 未来粘膜ワクチン研究開発シナジー拠点 三宅研究室 特任助教	リソソーム機能異常によるTLR活性化の分子機構 解明
菅原 太一	熊本大学 大学院生命科学研究部 生体微細構築学講座 助教	セルトリ細胞に着目して上皮極性の成立機序を探 る研究
濱田 理人	筑波大学 医学医療系 解剖学発生学研究室 准教授	マクロファージと自律神経の相互作用による肥満 抑制メカニズムの解明
林 周斗	東京科学大学 総合研究院 難治疾患研究所 計算システム生物学分野 准教授	深層学習を用いた高速タンパク質構造サンプリ ング手法の開発
藤原 隆行	東京大学 医学部附属病院 循環器内科 特任助教	時空間的マルチスケールイメージングおよび新規 動物モデルによる難治性循環器疾患の病態解明

氏名	所属機関・職位	研究題目
前田 啓子	名古屋大学 医学部附属病院 消化器内科学 助教	腸上皮細胞による腸管ホメオスタシス維持機構の解明と疾患予防への応用
室 龍之介	東京理科大学 生命医学研究所 分子病態学部門 新田研究室 助教	胸腺プロテアソームが選択するT細胞の免疫学的特性の解明
山内 一郎	京都大学 大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科学 助教	甲状腺機能亢進症の新規治療開発に向けた分子病態解明

計12件

< 臨床 >

氏名	所属機関・職位	研究題目
馬越 真希	九州大学 大学院医学研究院 病態制御内科学分野 助教	加齢による副腎由来ホルモンの不均衡に着目したフレイルの病態解明と医学応用
江本 拓央	神戸大学 大学院医学研究科 循環器内科学分野 医学研究員	心房細動を誘発する左房繊維化を制御する免疫治療法の開発
大網 毅彦	千葉大学 大学院医学研究院 救急集中治療医学 講師	重症急性膵炎における腸管dysbiosisの解析と感染性合併症の予防を目指した治療への応用
岡本 祐子	東京女子医科大学 医学部内科学講座膠原病リウマチ内科学分野 講師	DysbiosisとT細胞機能に着目した、関節リウマチ発症予防研究
栗田 威	京都大学 医学部附属病院 消化器内科 特定病院助教	潰瘍性大腸炎の新規自己抗体による診断法確立と治療薬開発
星山 禎	熊本大学病院 循環器内科 特任講師	ALDH2遺伝子情報を元にした心房細動患者におけるテーラーメイド治療は心房細動患者の予後改善効果を示すのか？
萬代新太郎	東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 腎臓内科学分野 テニユアトラック准教授	糖尿病性腎臓病の病期縦断的、臓器横断的解析による新規治療法・診断バイオマーカーの創出
目黒 和行	千葉大学 国際高等研究基幹 アレルギー・臨床免疫学 助教	重症SLE患者由来のTLR 7 機能獲得変異に着目した新規SLE自然発症マウスの樹立と新たな自己免疫疾患制御方法開発の基盤構築

計8件

薬学系研究助成

氏名	所属機関・職位	研究題目
池田真由美	和歌山県立医科大学 薬学部 薬剤学研究室 助教	点変異マウスを用いた血清アルブミンの超硫黄と酸化ストレス応答の解析
石井 雅樹	武蔵野大学 薬学部 分子細胞生物研究室 講師	抗真菌薬ポテンシエーター開発に向けた分子標的の同定
石川 文洋	近畿大学 薬学部医療薬学科有機薬化学研究室 准教授	細菌プロテアーゼ ClpP の活性制御機構の理解に基づく標的タンパク質分解技術の開発
伊藤 智哉	九州大学 大学院薬学研究院 生理学分野 西田研究室 助教	術後癒着を予防する新規抗体薬の構築
稲垣 佑都	名古屋市立大学 大学院薬学研究科遺伝情報学分野 助教	ポリA鎖伸長とストレス顆粒形成の関係に着目した脊髄小脳変性症原因因子Ataxin-2の機能とその変異による分子異常の解明
井貫 晋輔	徳島大学 大学院医歯薬学研究部(薬学域) 創薬有機化学分野 教授	創薬シーズ探索を指向した古細菌由来免疫調節分子の合成と機能解析
上田 善弘	産業技術総合研究所 触媒化学融合研究センター ヘテロ原子化学チーム 主任研究員	無保護糖由来ラジカルの発生・制御と天然型糖タンパク質半合成への展開
梅澤啓太郎	東京都健康長寿医療センター 研究所 老化機構研究チーム(プロテオーム) 准主任研究員	創薬化学に資するタンパク質の超硫黄活性の網羅的解析法の確立

氏名	所属機関・職位	研究題目
大多和正樹	北里大学 薬学部 薬品製造化学教室 准教授	ブテノリド含有天然物群の革新的全合成と、高度な有機合成化学が加速する創薬プラットフォームの構築
岡村 洋	静岡県立大学 薬学部 免疫微生物分野 助教	乳幼児特異的な腸上皮細胞LREsの抗原取り込みにおける選択性およびその機序の解明
小川 昂輝	名古屋市立大学 大学院薬学研究科 薬物送達学分野 講師	脂質ナノ粒子型キャリアの非侵襲的投与のための製剤設計と炎症性疾患治療への応用
金本 和也	東北大学 大学院薬学研究科 分子薬科学専攻 分子制御化学講座 分子設計化学分野 講師	ペプチドN末端特異的な自在修飾を可能にするプラットフォームの開発
苅谷 嘉顕	東京大学 大学院薬学系研究科 医療薬学教育センター 講師	随意運動失調をきたす疾患の症状グラデーション 規定因子探索に基づいた創薬可能性の検証
川口 大地	東京大学 大学院薬学系研究科分子生物学教室 准教授	発達期セロトニン調節を起点とした社会性行動制御メカニズムの解明
久世 祥己	岐阜薬科大学 生体機能解析学大講座 薬効解析学研究室 助教	胎児期低栄養に起因する生活習慣病に対する治療戦略の開発
栗原美寿々	北海道大学 大学院薬学研究院 RNA生物学研究室 助教	有糸分裂期における非膜オルガネラのダイナミクスと機能解析
篠田 夏樹	東京大学 大学院 薬学系研究科 遺伝学教室 助教	細胞内基質切断動態の理解と細胞死の回帰不能点の操作
嶋中 雄太	東京大学 大学院 薬学系研究科 衛生化学教室 助教	ステアリン酸含有リン脂質による発熱性脂肪組織選択的な熱産生制御機構の解明
鈴木 博元	千葉大学 大学院薬学研究院 生命薬学研究部門 環境生体科学講座 分子画像薬品学研究室 助教	悪性黒色腫に対する標的 α 線治療の有効性を向上する新規ラジオセラノスティクス用プローブの開発
隅田 有人	東京科学大学 総合研究院 生体材料工学研究所 創薬科学研究部門 生命有機化学分野 准教授	光誘起ラジカル形成による近接ラベル化法の開発
高鳥 翔	東京大学 大学院薬学系研究科 機能病態学教室 助教	アルツハイマー病における「 $A\beta$ 蓄積量と神経変性の乖離」の原因を探るミクログリア研究
高濱 充寛	大阪大学 大学院薬学研究科生体応答制御学分野 助教	新規アジュバント候補化合物による自然免疫活性化機構の解明
田中 愛海	名城大学 薬学部 微生物学研究室 研究員	細菌性肺炎に対する新規治療戦略の立案にむけた鼻咽頭常在菌による肺障害抑制機構の解明
田中 佑樹	千葉大学 大学院薬学研究院 環境生体科学講座 予防薬学研究室 助教	単一オルガネラ元素分析による未病指標「ミトコンドリア年齢」の確立
長友 優典	北海道大学 大学院薬学研究院 天然物合成化学研究室 教授	HIV潜伏感染除去を志向したインゲナンエステル類の全合成と活性評価
中村 孝司	金沢大学 医薬保健研究域薬学系 薬物送達科学研究室 教授	メモリー様NK細胞の機能を最大化するアジュバントシステムの開発
中村 有孝	和歌山県立医科大学 薬学部 病態生理学研究室 助教	アレルギー応答によるM細胞の分化制御
芳賀 優弥	大阪大学 大学院薬学研究科 毒性学分野 助教	難治性がんにおける薬剤抵抗性促進因子の同定と治療標的としての応用
橋本 洋佑	広島大学 大学院医系科学研究科 分子システム薬理学教室 助教	Claudin-5ミスセンス変異体により誘導される中枢神経系疾患の発症機構の解明と治療法の確立
浜田 翔平	金沢大学 医薬保健研究域薬学系 機能性分子合成学研究室 准教授	ペニシリンVの短工程合成法の開発と薬剤耐性菌への活性発現を指向したセレノペニシリンの創製
東 顕二郎	千葉大学 大学院薬学研究院 製剤工学研究室 准教授	リポソーム製剤開発を指向した閉鎖系ナノ空間における結晶化理論の構築
藤田 有美	金沢大学 附属病院薬剤部 特任助教	代謝性疾患治療薬の開発を目指した胎盤由来血糖降下因子の同定

氏名	所属機関・職位	研究題目
松崎潤太郎	慶應義塾大学 薬学部薬物治療学講座 准教授	miRNAで紐解く膵臓がん免疫治療抵抗性の獲得機序の解明
村上 光	静岡県立大学 薬学部薬科学科 統合生理学分野 助教	「一価」不飽和脂肪酸が骨格筋再生を促進する新奇メカニズム
森 貴裕	東京大学 大学院薬学系研究科 天然物化学教室 准教授	AIを活用した天然薬物生合成酵素の機能改変と天然物創薬への応用
薬師寺文華	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 創薬資源分子分野 教授	酵素活性化剤創製が拓く新たな創薬プラットフォームの構築
安井 猛	名古屋大学 大学院創薬科学研究科 創薬有機化学講座 山本研究室 准教授	多様な重医薬品の創出に資する実用的な精密重水素化法の開発
保嶋 智也	名古屋市立大学 医薬学総合研究院(薬学) 医療薬学講座・薬物動態制御学 准教授	新規アストロサイト特異的モノアミントランスポーターの同定 ～生理的役割の解明から創薬へ繋げる～
山口 英士	岐阜薬科大学 創薬化学大講座 合成薬品製造学研究室 講師	非共有結合性相互作用が切り開く光駆動型選択的分子変換反応の開発
山口 深雪	静岡県立大学 薬学部 薬科学科 医薬品化学分野 助教	配位子による位置選択性制御を実現する新規金属触媒反応の開発

計40件

薬学系研究継続助成

氏名	所属機関・職位	研究題目
牛丸理一郎	九州大学 高等研究院 准教授	三員環合成酵素の機能解析と物質生産への応用
生長幸之助	産業技術総合研究所 触媒化学融合研究センター 官能基変換チーム 研究チーム長	表面タンパク質化学修飾による機能化エクソソームの開発
笠井 淳司	名古屋大学 環境医学研究所 システム神経薬理学分野 教授	ストレスによる睡眠障害の発症機構の解明
刀坂 泰史	静岡県立大学 薬学部分子病態学分野 講師	腎線維化治療を指向するアルギニンメチル化酵素PRMT5の機能的役割の解析
亀井 敬泰	神戸学院大学 薬学部 薬物送達システム学研究室 准教授	認知症の根本治療に寄与する海馬標的型エクソソームDDSの開発
辰川 英樹	名古屋大学 大学院創薬科学研究科 細胞生化学研究室 助教	線維化を誘導する架橋酵素反応の分子機構解明と病態制御法の開発
野田 秀俊	微生物化学研究会 微生物化学研究所 化学部 主席研究員	化学選択的触媒反応で拓く創薬に資するsp ³ 炭素リッチ化合物の迅速供給

計7件

ライフサイエンス研究助成

氏名	所属機関・職位	研究題目
熱田 勇士	九州大学 大学院理学研究院 生物科学部門 動物発生学研究室 講師	鳥類胸骨の形態多様化を司る分子基盤
五十嵐太一	京都大学 大学院 生命科学研究科附属放射線生物研究センターゲノム損傷応答学分野 特定助教	PrimPol依存的DNA不連続合成のゲノム部位偏向性がもたらすゲノム不安定性の特性解明
伊澤俊太郎	北海道大学 大学院獣医学研究院 生化学教室 研究員	睡眠と代謝を調節するOrexin受容体の下流シグナル伝達の不均質性
石井 秀弥	理化学研究所 生命機能科学研究センター 構成的細胞生物学研究チーム 研究員	哺乳動物の心筋収縮制御における温度が果たす役割
石川 泰輔	鹿児島大学 共同獣医学部附属動物病院 特任助教	カルモジュリンキナーゼAイソフォームによる心疾患左右差の新規作用機序の解明

氏名	所属機関・職位	研究題目
石田 洋平	九州大学 大学院総合理工学研究院 准教授	タンパク質製剤の常温保存・輸送を可能にする無機マトリックス材料の開発
井上加奈子	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 バイオサイエンス領域 植物免疫学研究室 特任助教	新規イネ共生細菌が宿主の鉄獲得を促進する分子機構の解明
内田 紀之	東京農工大学 工学部 応用化学科 村岡研究室 特任講師	異方的ペプチドダブルネットワークゲルを利用した神経再生医療
大久保周子	京都大学 iPS細胞研究所 未来生命科学開拓部門 高橋和利研究室 助教	多能性幹細胞らしさを翻訳制御とシグナル活性から解く
大字亜沙美	理化学研究所 生命機能科学研究センター 発生エピジェネティクス研究チーム 研究員	DNA複製とゲノム3次元構造の二重制御に関わる因子の機能ドメイン探索
梶田 真司	福井大学 学術研究院 工学系部門 生物応用化学講座 生物プロセス工学研究室 講師	言語モデルによる免疫レパトア多様性制御機構の解明
京 卓志	自然科学研究機構 基礎生物学研究所 神経細胞生物学研究室 助教	局所翻訳動態のリアルタイムイメージングによる長期記憶形成機構の解明
兼子 拓也	名古屋大学 大学院理学研究科 生命理学 器官機能学グループ 特任助教	迷走神経の運動回路を適応的に修正する「体から脳への運動フィードバック」のメカニズム解明と、その活性化による回路最適化の促進
鯨井 智也	東京大学 定量生命科学研究所 クロマチン構造機能研究分野 助教	自然免疫DNAセンサーによるクロマチン認識の分子基盤
窪田 亮	京都大学 大学院工学研究科 合成・生物化学専攻 生物化学講座 浜地研究室 講師	低分子ペプチド型コアセルベートによる酵素薬剤の免疫原性低減技術の開発
倉科 佑太	東京農工大学 工学研究院 先端機械システム部門 准教授(テニュアトラック)	超音波応答性イオンチャネルの足場依存性の解明
香西 大輔	東京科学大学 総合研究院 高等研究府 細胞構造生理学研究室 プロジェクト助教	水チャンネルAQP3の開閉機構と阻害剤作用機構の構造基盤
後藤 祐平	京都大学 大学院生命科学研究所 細胞周期学分野 准教授	RBリン酸化動態のライブイメージングで解き明かす細胞分裂運命決定の情報統合機構
佐々木妙子	群馬大学 生体調節研究所 生体情報部門 生体膜機能分野 助教	ミトコンドリアDNA母性遺伝の破綻が疾患にもたらす影響の解明
椎森 仁美	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 バイオサイエンス領域 RNA分子医科学研究室 助教	マダニの次世代へのウイルス伝播制御機構の解明
重光 孟	大阪大学 大学院工学研究科 応用化学専攻 木田研究室 講師	標的指向型の超分子光増感剤による低侵襲光医療の開拓
嶋川 銀河	神戸大学 大学院農学研究科 生命機能科学専攻 植物栄養学研究室 助教	米生産に最適な葉の老化と光合成の関係性解明
竹内 純	静岡大学 農学部 応用生命科学研究科 植物化学研究室 准教授	アブシシン酸代謝に着目したオオムギの穂発芽抑制技術の開発
津田佐知子	埼玉大学 大学院理工学研究科 生命科学部門 発生生物学研究室 准教授	発達期における近縁認識の形成機構についての光解析
長江麻佑子	岡山大学 大学院環境生命自然科学研究科 動物遺伝学研究室 助教	細胞外マトリクスによる哺乳類の生殖制御メカニズムの解明
中嶋智佳子	名古屋大学 大学院理学研究科 理学専攻 理学研究科附属ニューロサイエンス研究センター 生命理学領域 細胞制御学グループ 助教	霊長類における神経幹細胞機能の低下メカニズムの解明
西嶋 傑	東京大学 大学院新領域創成科学研究科 生命データサイエンスセンター 鈴木研究室 特任准教授	超大規模メタゲノムデータに基づく腸内ダークマターの解明

氏名	所属機関・職位	研究題目
蛭川 暁	神戸大学 バイオシグナル総合研究センター シグナル機能制御部門細胞情報研究分野 助教	小胞体構造形成因子群-膜、分泌タンパク質発現の関連Compendiumの作製
古谷 朋之	大阪大学 大学院 理学研究科 生物科学専攻 植物細胞運命制御研究室 准教授	人為的な生殖器官発生導系を利用したコケ植物生殖器官発生を支える分子ネットワークの解明
堀 真緒	東京科学大学 総合研究院 生体材料工学研究所 有機生体材料学分野 助教	合成高分子-人工タンパク質ハイブリッド型ナノ粒子を基盤とした全身投与型mRNAキャリアの開発
松田 真弥	東京大学 理学部生物情報科学科 杉村薫研究室 助教	モルフォゲン濃度勾配のスケーリング機構の解明
松本 知訓	大阪大学 大学院生命機能研究科 細胞ネットワーク講座 倍数性病態学研究室 准教授	多倍体発癌のモデル化によるバレット発癌の芽の検出への挑戦
圓岡 真宏	京都大学 高等研究院 物質-細胞統合システム拠点 鈴木研究室 特定講師	新規スクランブラーゼの同定と生体機能の解明
持田 啓佑	東京科学大学 総合研究院 細胞制御工学研究センター 中戸川研究室 助教	定量的かつハイスループットなオートファジー活性測定法の確立
森廣 邦彦	東京大学 大学院工学系研究科 化学生命工学専攻 岡本研究室 准教授	生体内RNA分解機構をハイジャックするマイクロRNA標的型核酸医薬の開発
守屋 健太	神戸大学 大学院理学研究科 生物学専攻 石崎研究室 特命助教	コケ植物における新規組織獲得の分子基盤
矢崎 亮	九州大学 高等研究院 准教授	非天然アミノ酸を活用した細胞膜透過型中分子ペプチドの創成
山下 映	理化学研究所 開拓研究本部 岩崎RNAシステム生化学研究室 特別研究員	冬眠哺乳類細胞における低温耐性と特異的RNA制御機構
柚 佳祐	神戸大学 大学院理学研究科 化学専攻 生命分子化学 茶谷研究室 理学研究科研究員	光捕捉による時空間制御を用いたタンパク質液滴の老化プロセスの解明
横山 達士	京都大学 医生物学研究所 光バイオメディカルサイエンス部門 特定助教	大脳運動野の分子動態in vivo可視化
吉野 次郎	東京大学 大学院理学系研究科 生物科学専攻 脳機能学研究室 特任研究員	局所的な侵害刺激が個体全体へと伝播する個体内情報伝達メカニズムの解明

計41件

ライフサイエンス研究継続助成

氏名	所属機関・職位	研究題目
小池 誠一	富山大学 学術研究部工学系 生命工学コース オルガネラ合成生物学 特命助教	細胞内導入したリポソームの振る舞いから理解する細胞の社会
茶谷 悠平	岡山大学 学術研究院 環境生命自然科学学域 分子遺伝学講座 准教授	タンパク質合成装置の弱点を補強する「潤滑油」的翻訳因子群の機能解析
長尾 遼	静岡大学 農学部 応用生命科学科 准教授	カンタキサンチン過剰発現株由来の光合成光化学系膜タンパク質複合体の構造学的研究
原 昌稔	大阪大学 大学院生命機能研究科 細胞ネットワーク講座 染色体生物学研究室 助教	正確な染色体分配を支えるキネトコア複合体の構造と制御の解明
平泉 将浩	東京大学 大学院工学系研究科 化学生命工学専攻 西増研究室 助教	IS110リコンビナーゼのRNA依存性DNA挿入メカニズムの解明と高活性改変体の創出
船水 章大	東京大学 定量生命科学研究所 神経計算研究分野 講師	脳の単一学習則を実現する皮質-基底核回路の構成論的検証
宮道 和成	理化学研究所 生命機能科学研究センター 比較コネクトミクス研究チーム チームリーダー	自閉症モデルマウスにおける視床下部ミクログリアの変容と回復

計7件

特定研究助成

機 関 名	代 表 者	部 科・職 位	研 究 題 目
大阪大学	谷内江 望	ヒューマン・メタバース疾患研究拠点 創造的破壊生物学 谷内江研究室 特任教授	ウイルス細胞融合因子アトラス：自由に狙った臓器・細胞への正確な物質送達を可能にする
学習院大学	柳 茂	理学部 生命科学科 分子生化学研究室 教授	老化メカニズムの基盤となるミトコンドリア機能制御システムの解明と創薬
慶應義塾大学	内田 裕之	医学部 精神・神経科学教室 教授	サイケデリックスによるうつ病の治癒メカニズムの解明：基礎・臨床、脳・腸内細菌叢をつなぐ統合的探求
国立遺伝学研究所	齋藤 都暁	遺伝メカニズム研究系 無脊椎動物遺伝研究室 教授	リボスタシス異常が惹起する疾患の分子基盤解明
静岡県立大学	原 雄二	薬学部 統合生理学分野 教授	膜脂質－機械受容連関を基軸とする筋恒常性維持機構の理解深化
筑波大学	坂田麻実子	医学医療系血液内科学 教授	「体細胞変異のある炎症細胞」の制御による難治がんの克服
東京科学大学	鳥居 暁	総合研究院 高等研究府 病態細胞生物学研究室 プロジェクト准教授	「ゴルジ体関連分解の変調による炎症性腸疾患」の疾患概念確立と治療
奈良県立医科大学	中村 修平	医学部医学科生化学講座 教授	オートファジーの加齢変容による疾患発症の機序解明と治療応用
微生物化学研究会	野田 展生	微生物化学研究所 構造生物学研究部 特任研究員	相分離制御を基軸とした新規抗菌・抗ウイルス剤の開発
広島大学	岡村 好子	大学院統合生命科学研究科 生物工学プログラム 海洋生物工学研究室 教授	mRNA 医薬品化学合成のための CMC/GMP 製造に関する研究開発
宮崎大学	徐 岩	医学部機能制御学講座 生命分子科学分野 教授	蛍光分子イメージングにより実現する革新的がん可視化診断技術の開発
立命館大学	小池千恵子	薬学部 神経発生システム研究室・総合科学研究機構システム 視覚科学研究センター 教授・センター長	動的環境下における病態網膜の潜在能力ー 神経回路ダイナミクスの解明ー

計12件

ビジョナリーリサーチ助成(スタート)

氏 名	所属機関・職位	研 究 題 目
池田 真一	慶應義塾大学 医学部 眼科学教室 光生物学研究室 特任講師	眼球の力学的特性と遺伝子発現の空間解析およびその統合による近視眼における不均一な形態変化の分子基盤理解
稲田 利文	東京大学 医科学研究所 RNA制御学分野 教授	ALS発症におけるリポソーム動態異常とRQC活性低下の解明
榎本 和生	東京大学 大学院理学系研究科 生物科学専攻脳機能学分野 教授	幼少期のストレス経験が痛みを増悪・慢性化する分子神経メカニズムの解明
大木理恵子	国立がん研究センター 研究所 基礎腫瘍学ユニット 独立ユニット長	アポトーシス誘導因子Reprimoを用いた新規がん治療法の開発 ～副作用の少ない新規抗がん剤開発を目指して～
大島 健司	兵庫医科大学 医学部 病理学分子病理部門 教授	大腸がんの浸潤・転移に寄与する腫瘍代謝の解明と治療応用
大瀧 夏子	千葉大学 大学院医学研究院 人工知能医学 特任助教	マイクロ液滴技術と核酸バーコーディングを用いた高次元サイトカイン応答解析による肺線維症進行メカニズムの解明

氏名	所属機関・職位	研究題目
小坂田拓哉	東京科学大学 生命理工学院 黒田研究室 特任准教授	子が示す母への愛着の脳内基盤を解き明かす～愛着障害で苦しむヒトが少なくなる社会を目指して～
小野 洋也	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 遺伝子疾患治療研究部 リサーチフェロー	モデルラットとヒト大脳オルガノイドを用いたDuchenne型筋ジストロフィーの認知機能解析
川口 敦史	筑波大学 医学医療系感染生物学部門 分子ウイルス学分野 教授	ウイルス感染による免疫変容が引き起こす呼吸器常在細菌の病原性転化
川辺 浩志	群馬大学 大学院医学系研究科薬理学講座 教授	健康な神経ネットワークを維持するための特異的ユビキチン化研究
木村志保子	大阪大学 医学系研究科 感染症・免疫学講座 ウイルス学 特任助教	in vitro血液脳関門モデルを用いたインフルエンザ関連脳症の機序解明と治療法の開発
木村 俊介	慶應義塾大学 薬学部生化学講座 准教授	ナノボディによるM細胞標的型粘膜ワクチン開発基盤の構築
工藤 麗	がん研究会 NEXT-Gankenプログラム がん細胞社会成因解明プロジェクト クリニカルリサーチフェロー	乳がん晩期再発を予測・予防するシステムの開発
小井土 大	東京大学 大学院新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻 複雑形質ゲノム解析分野 助教	組織画像から空間的転写情報を予測するマルチモーダル機械学習法の創出
齋尾 智英	徳島大学 先端酵素学研究所 分子生命科学分野 教授	疾患関連転写因子の状態識別操作
佐々木麻里子	国立がん研究センター 研究所 がん治療学研究分野 研究員	独自の研究プラットフォームを活用した膵臓がん に有望な治療標的の探索
澤本 和延	名古屋市立大学 大学院医学研究科 脳神経科学研究所 神経発達再生医学分野 教授	内在性ニューロン移動・再生機構を活用した先進的脳傷害治療
柴田 幹大	金沢大学 ナノ生命科学研究所 生物物理学研究室 教授	高速AFMによるグルタミン酸受容体の一分子イメージング
清水 文崇	山口大学 大学院医学系研究科 臨床神経学 准教授	血液脳関門と血液神経関門を操作するモノクローナル抗体開発のための研究
下條 雅文	量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所 脳機能イメージング研究センター 主幹研究員(研究総括)	超音波に対する神経グリア回路応答の画像解析
菅瀬 謙治	京都大学 大学院農学研究科応用生命科学専攻 生体高分子化学分野 教授	緑茶由来成分を用いたパーキンソン病予防戦略の開発
竹田 誠	東京大学 大学院医学系研究科 微生物学 教授	革新的光制御型癌治療用ウイルスベクター
田畑 秀典	愛知県医療療育総合センター 発達障害研究所 分子病態研究部 室長	母体炎症反応によるアストロサイト発生異常と発達障害発症との関連
Tuganbaev Timur	慶應義塾大学 WPI-Bio2Q:ヒト生物学-微生物叢- 量子計算研究センター Jr. Principal Investigator	多剤耐性感染症に対する感受性の予測と生物治療薬の開発
中嶋悠一郎	東京大学 大学院薬学系研究科 准教授	栄養環境の変化で誘導される腸管上皮リプログラミング機構の解明
中田慎一郎	京都府立医科大学 大学院医学研究科 分子生化学 教授	眼科疾患におけるゲノム編集治療の実現
中津 祐介	広島大学 大学院医系科学研究科 医化学講座 准教授	脂肪細胞の「質」を決定する機序の解明と治療への応用
中道 亮	岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 整形外科 研究准教授	エストロゲンと関節の繋がりを解き、手指変形の進行を防ぐ

氏名	所属機関・職位	研究題目
西 裕志	東京大学 医学部附属病院 腎臓・内分泌内科 准教授	免疫抑制剤性腎障害の病態理解と治療開発
西中村 瞳	国立がん研究センター 研究所 腫瘍免疫研究分野 研究員	自然免疫応答の活性化による新たながん免疫治療への展開
西山崇比古	慶應義塾大学 医学部 循環器内科 特任講師	心臓特異的脂質ナノ粒子による新規遺伝子治療方法の開発
一二三恵美	大分大学 研究マネジメント機構 教授	抗体医薬に革新的進化をもたらすスーパー抗体酵素(Antigenase)の開発
古市 宗弘	慶應義塾大学 医学部小児科 助教	小児期の細菌叢の理解に基づく小児疾患の新規予防法・治療法の開発
堀川 誠	奈良県立医科大学 医学部・生化学講座 講師	線虫の低温休眠を制御するオートファジー遺伝子の機能解析
本田 信治	福井大学 学術研究院医学系部門 看護学領域 生命基礎科学 准教授	ゲノム隣接因子による抗ウイルス応答RNA編集機構の解明と応用展開
丸山 達生	神戸大学 大学院工学研究科 応用化学専攻 教授	分子集合体による酵素の新規阻害様式と劇症型感染症治療への展開
本村 泰隆	東京理科大学 生命医学研究所 免疫アレルギー部門 本村研究室 准教授	革新的アレルギーワクチンの開発によるアレルギー予防の実現
森本 純子	徳島大学 大学院医歯薬学研究所 生体防御医学分野 准教授	プロテアソーム機能異常がもたらす脂肪炎症・萎縮の発症機構
夜久 圭介	富山大学 学術研究部 医学系分子医薬理学 講師	哺乳動物における5'-NAD+キャッピングは遺伝子発現を制御するののか-老化関連疾患の病態解明に向けた研究
箭原 康人	大阪大学 医学系研究科 生命機能研究科 免疫細胞生物学 准教授	破骨細胞の善・悪を規定する分子基盤の同定
山口 裕嗣	生理学研究所 多細胞回路動態研究部門 助教	冬眠と睡眠を制御する神経回路の統合的解析
横瀬 淳	富山大学 学術研究部 薬学・和漢系 薬物治療学研究室 講師	利他的行動の伝播に関わる神経細胞集団シングルセルRNA-seq解析

計42件

ビジョナリーリサーチ継続助成(ホップ)

氏名	所属機関・職位	研究題目
伊藤美智子	東京医科大学 生化学分野 主任教授	死細胞貪食に伴うイムノメタボリズム変調の理解と医学応用
金子 直樹	九州大学 大学院歯学研究院 顎顔面腫瘍制御学分野 助教	自己免疫疾患とCOVID-19の病態形成に関与する特異的T細胞・B細胞の追求～多疾患に共通する潜在的な治療標的の探索～
河津 正人	千葉県がんセンター 研究所 細胞治療開発研究部 部長	遺伝子および転写バリエーションの多様性理解に基づく悪性腫瘍のゲノム解析および病態解明
木岡 秀隆	大阪大学 大学院医学系研究科 循環器内科学 助教	心筋細胞内局所プロテオスタシスの理解と新概念に基づく心不全治療戦略の確立
北川 大樹	東京大学 大学院薬学系研究科 教授	分子夾雑な細胞内環境における非膜系オルガネラの形成原理の解明
見學美根子	京都大学 高等研究院 物質-細胞統合システム拠点 教授	脳の健康寿命の維持に向けたニューロンゲノム損傷防御機構の解明
佐藤 裕公	群馬大学 生体調節研究所 准教授	卵の老化を理解するための卵母性因子のハイスループット解析

氏名	所属機関・職位	研究題目
中嶋 洋行	国立循環器病研究センター 研究所 細胞生物学部 室長	血管が主導する新たな組織形成機構の解明
野々村恵子	京都大学 医生物学研究所 メカノセンシング生理学 教授	生後脳発達における脳脊髄液のメカニカルダイナミクス制御機構の寄与の解析
長谷 耕二	慶應義塾大学 薬学部生化学講座 教授	IgAバリアの構築と破壊に関する統合的理解
藤生 克仁	東京大学 大学院医学系研究科 先進循環器病学 特任教授	心血管ストレスの新しい感知・統合機構による恒常性維持機構とその破綻機序の解明
松村 欣宏	秋田大学 大学院医学系研究科 分子機能学・代謝機能学講座 教授	体細胞-生殖細胞の情報伝達による世代を超えるエネルギー代謝制御の研究
山崎 博未	大阪大学 大学院医学系研究科 がん病理学教室 助教	白血病治療を目的としたアミノ酸代謝機構の統合的理解
山下 貴之	藤田医科大学 医学部 生理学II講座 教授	触嗜好性を司る新規皮質領域の同定と機能解析
山田 健一	九州大学 大学院薬学研究院 分子病態解析学分野 主幹教授	酸化脂質分子が引き起こす生体反応
山本 毅士	大阪大学 大学院医学系研究科 腎臓内科学 特任助教(常勤)	メガリン-リソソーム経路に着目したAKI-to-CKD transitionの病態解明と治療戦略

計16件

ビジョナリーリサーチ継続助成(ステップ)

氏名	所属機関・職位	研究題目
Wong Richard	金沢大学 ナノ生命科学研究所 教授	ナノイメージングによるウイルス核膜孔通過メカニズムの解明
志甫谷 渉	慶應義塾大学 医学部 坂口光洋記念シグナル探求学講座 准教授	構造に指南されたリゾリン脂質受容体標的薬の創出
中沢 由華	名古屋大学 大学院医学系研究科 分子遺伝学 教授	転写と共役したDNA修復の分子機構究明とDNA修復欠損性遺伝性疾患の病態解明
長谷川恵美	京都大学 大学院薬学研究院 システムバイオロジー分野 准教授	ポジティブな感情を欠損させたマウスの睡眠・覚醒と行動変化の関係性の探索
安原 崇哲	京都大学 大学院生命科学研究所 教授	転写活性化領域におけるDNA二重鎖切断応答の統合的理解を通じたがんゲノム異常発生機構の解明

計5件

ビジョナリーリサーチ継続助成(ジャンプ)

氏名	所属機関・職位	研究題目
石谷 太	大阪大学 微生物病研究所 生体統御分野 教授	超短命魚ターコイズキリフィッシュを用いた個体老化機構の解明と、それを基盤とした健康寿命延伸技術の開発
田中 元雅	理化学研究所 脳神経科学研究センター タンパク質構造疾患研究チーム チームリーダー	アミロイドの人工的制御を目指して

計2件

理科教育振興助成

<小学校>

氏名	所属機関・職位	研究題目
小田 晋	やまぐち総合教育支援センター 研究指導主事	問題解決能力を育成する新実験植物教材に関する研究 - 小学校5年理科「発芽や成長の条件を調べる実験」におけるレンズマメの活用-
久次米昌敏	阿波市立御所小学校 教頭	小学校理科教育におけるすべての子供の主体的な学びを実現させる授業実践
窪谷 理	潮来市立延方小学校 教諭	理科教育を中核としたSTEAM教育の実践
齊藤 徳明	藤沢市立鶴沼小学校 教諭	ICT活用を通じた協働的に科学的説明を構築する力を育む理科授業-ロイロノート、ハイラブルによる証拠の抽出力の促進-
高橋 暁篤	ろりぽっぷ小学校 教諭	～里山の菌類を、タイムラプスを用いて観察する～ ～主体性を育み、個別最適化を目指す学びの多様化学校での試み
平島 和雄	京都市立開晴小中学校 教諭	学びのつながりを実感できる理科学習の創造 ～効果的な社会教育施設の活用～
福村 健	鹿児島市立錦江台小学校 教諭	時空を超える天体学習
筆野 元	堺市立東三国丘小学校 教諭	理科の有用性を実感させる教科横断的プログラムの開発-小4単元「ヒトのつくりと運動」と「体の発育・発達」を通して-
矢尾板聖仁	千葉市立緑町小学校 教諭	緑町小バイオパーク・ホールスクールプロジェクト

計9件

<中学校>

氏名	所属機関・職位	研究題目
市川 信	玉川学園 中学部 教諭	海を救え！アマモ場再生への挑戦
井上 一平	唐津市立浜玉中学校 教諭	マルチカラー3Dプリントでより視覚的に理解し易い教材・教具の開発～マルチカラー3D教材の価値を引き出すツールとしてのICTの活用～
井上 純一	広島大学附属中・高等学校 教諭	「生物発光」を通じて「科学技術と日常生活や社会との関連」を多面的・創造的に思考する中学校理科の探究型教材『「生物発光」で未来を創る！』
岩井 祐一	東京学芸大学附属特別支援学校 教諭	知的障害特別支援学校中学部の理科学習における体育との連携による教科横断的授業の実践研究
鵜飼 哲真	奈良女子大学附属中等教育学校 教諭	刈り取った芝の有効活用について～生徒主体による持続可能な学校づくりを目指して～
大宮来音歩	白山市立笠間中学校 教諭	中学生による3倍体スイカの探究を通じた遺伝子・染色体理解の深化と大学連携による探究的学習の推進
片岡久美子	清泉女学院中学高等学校 非常勤講師(理科・化学)・理科助手	理科ワンボックス実験箱～中学理科の本質的で安全な学びの実現と教師の準備時間削減を目指した試み～
小林 則彦	筑波大学附属駒場中・高等学校 教諭	スマートフォン用「レーダー探査型 野外実習アプリ」の開発とその教育的効果および有効性の検証
佐々木聡也	岩手大学教育学部附属中学校 教諭	A Iで探る地域の気候変動～中学生によるデータ解析と未来予測～

氏名	所属機関・職位	研究題目
鈴木 真宏	多賀城市立東豊中学校 主幹教諭	生徒の探求心を揺さぶり、科学の有用性を実感させる体験学習 ～本格的な「たたら製鉄」体験による砂鉄の探求活動～
高橋 政宏	藤枝市立青島中学校 主幹教諭	地域全体の理科教育の質の向上を目指した「授業BOX」プロジェクト
田中 玄伯	長浜市立高月中学校 教諭	粒子運動を実感できる粒子模型を活用した教材の開発と授業設計～溶解と気圧の科学的理解促進
田中 佑二	茨城県立土浦第一高等学校附属中学校 教諭	地域資源を活用した新規生分解性プラスチックの作製 ～探究学習を通じた地域の環境問題解決へのアプローチ～
中込 泰規	東京学芸大学附属竹早中学校 教諭	Nature of Scienceの構成要素の統合的理解を促す授業モデルの構築
中司 桂輔	開智所沢中等教育学校 教諭	スローモーション動画を活用した視覚的理解を促す開かれた理科教材の開発
長屋 聖慰	下関市立文洋中学校 教諭	年間を通じた探究授業とそれによる生徒の探究観の変容
長山 定正	市川中学校市川高等学校 教諭	微生物を手がかりに地域の水環境を学ぶ教材の開発～DNA解析を通して水の中の生命を見つめる授業実践～
宮本 一弘	開成中学校 教諭	中高一貫校における中学3年生の化学 ～科学史を中心として～
山下 倫桜	滝川第二中学高等学校 教員	アリの行動から学ぶ、問題提起から課題解決までのプロセス
山本 咲	栃木県立聾学校 教諭	聴覚障害を有する生徒への視覚的支援の実践

計20件

<高等学校>

氏名	所属機関・職位	研究題目
青山 尚広	北海道俱知安農業高等学校 教諭	高校敷地内における河川の水質および生態調査
浅倉 努	東京都立成瀬高等学校 教諭	未利用資源の発見を通じた探究学習における教材開発
阿部 俊暉	北海道鶴川高等学校 教諭	3Dプリンターを活用した古生物化石の標本作成及び標本を用いた教育プログラム開発
飯嶋めぐみ	北海道高等学校遠隔授業配信センター 教諭	遠隔授業における高速3Dプリンターを活用した実践研究～深い学びを日常的に実現するオンライン実験の工夫～
飯塚 祐介	茨城県立竹園高等学校 教諭	地域人材(刀鍛冶)を活用したSTEAM教育実践～高等学校化学酸化還元におけるたたら製鉄法を用いた深い学び～
池田 理佐	ノートルダム清心学園清心中学校 清心女子高等学校 教諭	高等学校生物における生きた教材で探究する細胞骨格と収斂進化：太陽虫を用いた体験型学習プログラムの開発
池永 明史	清風高等学校 教諭	ヨシ抽出液でイシガイを救え！！
和泉 裕志	広島県立西条農業高等学校 教諭	チンゲンサイの耐暑性に関連する遺伝子の探索～地球温暖化に耐えうる新たな品種の創出を目指して～
磯野 巖	東京都立東村山高等学校 主任教諭	市街地に生息する動植物を活用した製品開発をするための探究学習の研究。

氏名	所属機関・職位	研究題目
井上みどり	多摩大学目黒中学高等学校 非常勤講師	ワイヤレス温度センサを利用した熱化学に関する高校化学実験教材の開発
遠藤 拓也	東京都立城東高等学校 主任教諭	昭和から平成にかけての高等学校化学の実験教材の現代化とその授業実践および普及に向けた取り組み
大迫 武治	鹿児島県立錦江湾高等学校 教諭	ヤンバルトサカヤスデの全国拡大予測と大発生要因の解明
大多和光一	兵庫県川西緑台高等学校 教諭	誰でも実施しやすい電流分野の生徒実験を普及する
大西 啓太	大阪府立池田高等学校 教諭	高校化学部における糖の構造・反応性の量子化学的解析と視覚化教材の開発
岡崎 裕一	北陸学院中学校・高等学校 教頭	高校物理と世界遺産や地元の遺跡を絡めた授業実践について ―古代ローマや学校そばの金沢城のアーチの謎に迫る―
奥西 勇介	岡山県立津山工業高等学校 教諭	工業高校科目「実習(工業化学科)」におけるXRの導入と安全教育への活用
角本 雅治	静岡県立伊豆中央高等学校 教諭	公立普通科高校におけるDNA解析実験を題材としたバイオテクノロジー教育
勝野 啓	兵庫県立長田高等学校 教諭	星・惑星科学を題材に学ぶ高校物理教材の開発(スマート望遠鏡・VR機器・シミュレーションの活用可能性)
兼重堅志郎	青翔開智中学校・高等学校 教諭	物理基礎における単元内自由進度学習によって、自己調整能力を育成する
川村 一徳	英明フロンティア高等学校 教諭	スピントロスオーバー錯体を用いたd軌道の探究
北川 輝洋	千葉県立幕張総合高等学校 教諭	デンプンやタンパク質の加水分解を可視化する実験教材の開発
北谷 泰造	和歌山県立和歌山工業高等学校 定時制 講師	和歌浦干潟を、調査し、記録し、理解し、保全し、活用して学びを深める部活動の指導
申間 宗夫	宮崎県立宮崎工業高等学校 定時制 講師	半導体集積回路設計実習の指導教材開発と生徒実習での活用
久保川剛宏	滋賀県立河瀬中学校・高等学校 教諭	食とものづくりを題材とした生成AIと地域連携による探究学習モデルの構築とSTEMキャリア形成
合志 友樹	有明高等学校 教諭	有明海の干潟を題材とした教科横断的な探究学習の開発～Ariake学、地理の特性と自然の保全を考える～
小島 直樹	安田学園中学校高等学校 理科主任	ミツバチの栄養交換に関わる触角の動きの分析
小山 悠太	浅野中学・高等学校 教諭	バイオチャーが様々な環境・生物に与える影響の多角的な検証と環境教育への応用
笹岡慎太郎	愛媛県立松山南高等学校 教諭	3DプリンターとレゴSPIKEプライムを活用した日韓共同防災研究―データサイエンスで探る減災対策―
佐々木智美	昭和薬科大学附属高等学校・中学校 教諭	ニガウリ中のビタミンC定量法の改良 ～妨害成分の影響とその抑制～
佐々木康子	広島大学附属中・高等学校 教諭	主体的・対話的で深い学びで物理学と日常生活や社会をつなぐ教材開発 –「原子」領域を広島で学ぶ-
佐藤 豊	名古屋経済大学市邨高等学校 教諭	私は、科学コミュニケーターになる!～「光を科学する」から見える未来～

氏名	所属機関・職位	研究題目
鮫島 朋美	東京学芸大学附属国際中等教育学校 教諭	生成AIを活用した高校化学実験レポートの指導～適切と不適切を見極める目を養う～
鈴木 駿久	栃木県立真岡工業高等学校 教諭	Webアプリケーションによる力学の誤り可視化教材の開発
竹田 大樹	慶應義塾湘南藤沢中部・高等部 教諭	“見えない空気”を物理で捉える！高等学校における気象学実験の新たな挑戦
田上 智之	京都明德高等学校 教諭	相互作用型演示実験授業での課題提示方法の工夫による学習意欲の向上と学習効果の関係
寺崎 英之	山形県立酒田光陵高等学校 教諭	ICTを活用した相互評価活動の効果的な実践と学習シート自動作成システムの構築
戸倉 響	大分県立大分東高等学校 臨時講師	再生水の科学～下水処理水を活用した持続可能な循環型肥料プロジェクト～
仲島 浩紀	帝塚山高等学校 教諭	生成AIを活用した化学実験におけるリアルタイム解析支援モデルの開発と実践
長島 素子	筑波大学附属聴覚特別支援学校 教諭	言語聴覚士と連携した音の伝わり方と補聴機器に関する授業実践
中野あゆみ	京都府立亀岡高等学校 教諭	ツバメ類の巣に含まれる接着成分の分析について～ツバメ、コシアカツバメ、イワツバメの比較～
沼畑 早苗	お茶の水女子大学附属高等学校 教諭	東京都文京区の高等学校におけるボーリング掘削調査と探究活動
原 誠実	鳥根県立松江東高等学校 教諭	鳥根の下水処理技術(MAP法)を素材とした化学教材の開発
廣田 秋俊	高知県立高知小津高等学校 教諭	楽器の構造を物理的視点で考えるための教材の開発と実践
藤林 亮太	北海道札幌東高等学校 教諭	高等学校「物理」における定番実験の再探究と、教員向け実験講習会を通じた実験技術の伝承と深化
藤原 將起	東京都立日比谷高等学校 主任教諭	エントロピー及びギブズエネルギーの実験教材の開発
星原 庸平	京都府立山城高等学校 教諭	熱容量の微視的考察のための実験方法の研究
三部 航介	東京都立国分寺高等学校 教諭	両生類の教材化 ～2系統の無尾目を用いた高校生物「生物の系統と進化」の授業開発とその教育効果の検討～
村田 満	高川学園中学校・高等学校 講師	中学生・高校生によるオオサンショウウオ新産地の生息調査等の研究活動 さらに旧生息地の復元につながる自然環境と希少種再生のための事業
森田 直之	東京都立科学技術高等学校 主任教諭	廃棄物の熱分解処理において生成する二酸化炭素の回収に関する研究
盛田 義弥	石川県立小松高等学校 教諭	マイコンを用いて生徒が物理実験のための測定器を自作する授業プログラムの開発
山下 哲	大阪府立北野高等学校 教諭	高校物理における、構成主義の特性を踏まえた、現実的な「補正されたアクティブラーニング型授業」方法の構築と実践
山本 修平	大阪教育大学附属高等学校 教諭	プロジェクション・マッピングを題材にした数学的活動 ～問いを問題にする力の育成～

計52件

2025年度 応募件数・採択件数・採択率

プログラム名	応募件数	採択件数	採択率
武田報彰医学研究助成	35	10	29%
ハイリスク新興感染症研究	46	10	22%
生命科学研究助成	207	35	17%
医学系研究助成(がん領域・基礎)	116	38	33%
医学系研究助成(がん領域・臨床)	95	33	35%
医学系研究助成(精神・神経・脳領域)	133	43	32%
医学系研究助成(感染領域)	71	25	35%
医学系研究助成(基礎)	197	63	32%
医学系研究助成(臨床)	125	43	34%
医学系研究助成(小計)	737	245	33%
医学系研究継続助成(がん領域・基礎)	16	7	44%
医学系研究継続助成(がん領域・臨床)	9	4	44%
医学系研究継続助成(精神・神経・脳領域)	18	8	44%
医学系研究継続助成(感染領域)	5	2	40%
医学系研究継続助成(基礎)	27	12	44%
医学系研究継続助成(臨床)	15	8	53%
医学系研究継続助成(小計)	90	41	46%
薬学系研究助成	153	40	26%
薬学系研究継続助成	18	7	39%
ライフサイエンス研究助成	194	41	21%
ライフサイエンス研究継続助成	19	7	37%
特定研究助成	35	12	34%
ビジョナリーリサーチ助成	426	43*	10%
ビジョナリーリサーチ継続助成(ホップ)	27	16	59%
ビジョナリーリサーチ継続助成(ステップ)	12	5	42%
ビジョナリーリサーチ継続助成(ジャンプ)	6	2	33%
小学校理科教育振興助成	18	9	50%
中学校理科教育振興助成	49	20	41%
高等学校理科教育振興助成	128	52	41%
合計	2,200	595	27%

※採択決定後の辞退1件含む

2025年度来日外国人留学研究者(国別人数)

〈2026年3月31日現在〉

国 別	2025年度 計画 (人数)	2025年度 承認 (人数)	実 績 (人数)				備 考
			本年度	前年度 繰越	次年度 繰上	計	
台 湾	4	5	5			5	
タ イ	8	8	8			8	
フィリピン	8	8	8			8	
韓 国	4	3	3			3	
中 国	8	8	8			8	
インドネシア	8	8	8			8	
ベトナム	4	4	4			4	
7カ国/地域 小計	44	44	44			44	
上記7カ国/地域以外	10	10	7			7	
総 計	54	54	51			51	

2025年度外国人留学研究者明細

2025/4/1-2026/3/31来日者

氏 名	所 属	研 究 機 関
中 国		
Jiehua Qiu 邱结华	The Second Affiliated Hospital of Nanchang University	国立循環器病研究センター病院 血管外科
Weiwei Wang 王伟伟	Xi'an People's Hospital (Xi'an Fourth Hospital)	東京大学医学部 眼科学教室
Chen Lu 卢晨	The First Affiliated Hospital of Anhui Medical University	がん研究会 有明病院 呼吸器外科
Yanan Zhou 周亚男	The Second People's Hospital of Hunan Province	久里浜医療センター
Jiemin Lyu 吕杰敏	Sir Run Run Shaw Hospital	順天堂大学医学部附属順天堂医院 肝・胆・膵外科
Ya Guo 郭亞	The Second Affiliated Hospital of Xi'an Jiao Tong University	国立がん研究センター 東病院 放射線治療科
Xuelai Liu 刘雪莱	Chongqing General Hospital	東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科学教室
Yingxi Hu 胡颖熹	The First Affiliated Hospital of Soochow University	理化学研究所 鈴木糖鎖代謝生化学研究室
小 計	8名	
台 湾		
Heng-Yuan Hsu 許桓源	New Taipei Municipal Tu Cheng Hospital	京都大学医学部附属病院 肝胆膵・移植外科
Yi-Han Chang 張亦函	National Cheng Kung University	大阪大学産業科学研究所 複合分子化学研究分野
Meng-Yu Wu 吳孟諭	Taipei Tzu Chi Hospital	九州大学病院 救命救急センター
Meng-Ju Wu	National Cheng Kung University Hospital	佐賀大学 脳神経内科
Nai-Ying Ko 柯乃熒	National Cheng Kung University	筑波大学 感染症内科学
小 計	5名	
韓 国		
Ji-Soo Kim	Seoul National University	横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 脳神経内科
Young-Hyun Go	Seoul National University, Institution of Pharmaceutical Science	熊本大学発生医学研究所 腎臓発生分野
Jae Rock Do	Kyungpook National University Hospital	九州大学病院 眼科
小 計	3名	
ベトナム		
Khuyen Thi Nguyen	Viet Nam National Hospital	金沢大学医薬保健研究域医学系 人体病理学教室
Anh Thu Nguyen	Trung Vuong Hospital	関西医科大学附属病院 消化器肝臓内科
Tu Thanh Nguyen	University Medical Center	京都大学医学部附属病院 病理診断科
Phi Duong Nguyen	City Children's Hospital	国立成育医療研究センター 整形外科
小 計	4名	
フィリピン		
Ria Katrina Buenaventura Cortez	South Cotabato Provincial Hospital	国立がん研究センター中央病院 内視鏡科 呼吸器内視鏡
Joanna Marie Choa Go	The Doctors' Hospital, Inc.	国立成育医療研究センター 放射線診療部
Herdee Gloriane Cristal Luna	National Kidney and Transplant Institute	国立がん研究センター 東病院 医薬品開発推進部
Nicole Dalmacio Sacayan-Quitay	Sorsogon Provincial Hospital	太田総合病院 中耳内視鏡手術センター
Laurence Kristoffer Jaravata Batino	Baguio General Hospital and Medical Center	国立循環器病研究センター病院 脳血管内科
Michael Sylvestre Agabin Saturnino	Philippine Orthopedic Center	産業医科大学若松病院 整形外科
Ivan Arni Caballero Preclaro	Tondo Medical Center	新潟大学大学院医歯学総合研究科 分子細胞医学専攻細胞機能講座皮膚科学分野
Heather Grace Piluden Dulnuan	Cagayan Valley Medical Center	東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科学教室
小 計	8名	

氏 名	所 属	研究機関
タ イ		
Jirapath Wivitkeyoonwong	Police General Hospital	国立がん研究センター中央病院 国際開発部門
Natthasiri Suwannarat	Phatthalung Hospital	東大病院 産婦人科
Suchada Saengrung	Vachira Phuket Hospital	旭川赤十字病院 脳神経外科
Wisuttichai Wongwerayut	Phichit Hospital	広島市立広島市民病院 外科
Tassaya Buranupakorn	Fang Hospital	国立長寿医療研究センター リハビリテーション科
Thuchchai Pipitpanpipit	Bhumirajanagarindra Kidney Institute Hospital	亀田総合病院 泌尿器科
Tanyathorn Teeranoraseth	Chiang Mai University	東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科学教室
Gorranit Thummata	Chomthong Hospital	関西医科大学 麻酔科学講座
小 計	8名	
インドネシア		
I Gusti Ketut Agung Surya Kencana	RSUP Prof. dr. I. G. N. G. Ngoerah Hospital	名古屋大学大学院医学系研究科 脳神経外科学
Samsul Arifin	Brawijaya University	名古屋市立大学大学院医学研究科 眼科学教室
Susana Suryadi	Wates District General Hospital	聖マリアンナ医科大学 産婦人科学
Yusran Ady Fitrah	Faculty of Medicine, Hasanuddin University	国立循環器病研究センター病院 脳神経内科
Dimas Tri Anantyo	Diponegoro University	国立成育医療研究センター 新生児科
Elysa Nur Safrida	Sardjito General Hospital	国立成育医療研究センター 新生児科
Leonardo Alfonsius Paulus Lalenoh	University of Indonesia	大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室
M. Farid Huzein	Hasanuddin University Hospital	千葉大学医学部附属病院 小児科
小 計	8名	
そ の 他		
Thibaud Sotin フランス	Nantes Universit	大阪大学 ヒューマン・メタバース疾患研究拠点
Sanjaya Karki ネパール	Nepal Mediciti Hospital	国士舘大学 防災・救急救助総合研究所
Ayhan Oral トルコ	Canakkale Onsekiz Mart University	熊本大学生命科学研究部 サイエンスファーム生体機能化学共同研究講座
Zubair Ud din パキスタン	Hayatabad Medical Complex Peshawar	静岡がんセンター 胃外科
Ashish Kumar Jha ネパール	Arsh Superspeciality Hospital	東京女子医科大学附属足立医療センター 脳神経外科
Waleed Abdellah Abdelnaime Mahmoud エジプト	Minia University	九州大学大学院農学研究院 サステイナブル資源科学講座
Wadii Thabet チュニジア	Tahar Sfar Hospital	国立がん研究センター中央病院 頭頸部外科
小 計	7名	
合 計	51名	

国別外国人留学研究者数累計

2026/3/31現在
(来日ベース)

国別	期 間	25ヵ月 &以上	24ヵ月 &以下	12ヵ月 &以下	6ヵ月 &以下	3ヵ月	3ヵ月 未満	合計	制度発足年
台湾		22	53	115	61	329	3	583	1964
タイ			9	15	134	98		256	1966
フィリピン			7	16	127	47	2	199	1971
韓国			4	114	20	5	2	145	1972
中国			37	134	134	1		306	1981
インドネシア			12	25	66	96	4	203	1982
ベトナム				3	32	57	1	93	1998
アフガニスタン				1				1	
アメリカ			3			1		4	
アルバニア					1			1	
イギリス			1	1				2	
イタリア			1	3	1			5	
イラン				1				1	
インド			3	24	10	3		40	
ウクライナ			1	1				2	
ウズベキスタン				5				5	
エジプト			1	13	4	1	1	20	
オーストラリア				2				2	
ガーナ				1	1			2	
カザフスタン				1				1	
カナダ				2	1			3	
カメルーン				1				1	
ケニア				1	1	1		3	
コンゴ				1				1	
シリア				1				1	
スイス				1				1	
スウェーデン				2				2	
セネガル					1			1	
チュニジア				1			1	2	
ドイツ			4	4	3			11	
トルコ				3	6		1	10	
ナイジェリア				2	2			4	
ニュージーランド					1			1	
ネパール				5	2	1		8	
パキスタン				5	2			7	
パラグアイ				1	2			3	
バングラデシュ				9	8	3		20	
ブラジル				2		1		3	
フランス			3	5	3	1		12	
ベネズエラ				1				1	
ベラルーシ				1				1	
ペルー			1	1	2			4	
ベルギー					1			1	
マレーシア			1	2	1	1		5	
ミャンマー			1	1	3	3		8	
メキシコ			1					1	
モロッコ				1				1	
モンゴル					1			1	
ロシア			1	1			1	3	
合計		22	144	529	631	649	16	1,991	

医学部博士課程奨学助成者

2025年度 新規奨学助成者

氏名	博士課程進学後の所属講座・教室
川越 幹洋 カワゴエ ミキヒロ	北海道大学大学院医学院 分子神経免疫学分野
岸浪 建 キシナミ タケル	北海道大学大学院医学院 腫瘍病理学教室
芹野 南美 セリノ ミナミ	九州大学大学院医学系学府 アレルギー防御学
東元 孔志 ヒガシモト コウシ	九州大学大学院 システム生命科学府 トランススケール構造生命科学
日高 礼子 ヒダカ レイコ	京都大学大学院医学研究科 再生免疫学分野
村田 幹 ムラタ モトキ	京都大学iPS研究所 増殖分化機構研究部門 長船研究室
鈴木 志穂 スズキ シホ	大阪大学大学院医学系研究科 情報機能医学 生命情報学
藤島 京祐 フジシマ キョウスケ	大阪大学大学院医学系研究科 免疫科学教室
加地 建 カチ タケル	名古屋大学大学院医学系研究科 分子腫瘍学教室
丸山 昭洋 マルヤマ アキヒロ	名古屋大学大学院医学系研究科 機能分子制御学
生地 耕 イクチ コウ	東京大学定量生命科学研究所 行動神経科学分野
野田 侑 ノダ ユウ	東京大学大学院医学系研究科 分子免疫学教室
銭 映美 セン エミ	慶應義塾大学医学部 臨床遺伝学センター
田村 友宏 タムラ トモヒロ	慶應義塾大学医学部 石井・石橋記念講座(拡張知能医学)
千種 峻平 チクサ シュンペイ	東北大学大学院医学系研究科 麻酔科学・周術期医学分野
吉川 有美 ヨシカワ ユミ	東北大学大学院医学系研究科 器官解剖学分野

2025年度 海外研究留学者

氏名	所属機関	海外研究機関・受入責任者名
安部 沙織	筑波大学附属病院 膠原病リウマチアレルギー内科	University of Leiden Prof. Dr. Rene E.M. Toes
新井 絢也	朝日生命成人病研究所 附属医院	Columbia University Chief, Timothy Cragin Wang
春日 優介	北海道大学大学院医学研究院	Institute of Neuronal Cell Biology (TUM-NCB), Technical University Munich, German Center for Neurodegenerative Diseases (DZNE) Prof. Mikael Simons
神原 由依	岡山大学医学部 血液・腫瘍・呼吸器内科学	Dan L Duncan Comprehensive Cancer Center, Baylor College of Medicine Director, Pavan Reddy
住谷 隆輔	順天堂大学医学部	Toronto Lung Transplant Program, University of Toronto Associate Professor Tereza Martinu
中野 雄太	市立青梅総合医療センター	Department of Population Health Science, Bristol Medical School, University of Bristol Prof. Fergus J Caskey
西 航	熊本大学病院 呼吸器外科	Lee Kong Chian School of Medicine, Associate Professor Yasunori Saheki
半田 悠	北海道大学 遺伝子病制御研究所 分子神経免疫学分野	Sir William Dunn School of Pathology, University of Oxford Prof. Pedro Carvalho
松本 勇貴	東北大学病院 脳神経内科	University of Pennsylvania Prof. Amit Bar-Or
山内 悠平	京都大学医生物学研究所	Arizona State University Associate Professor Xiaojun Tian

The 12nd Takeda Science Foundation Symposium on PharmaSciences

Poster Award	Family Name	First Name	Institution	Abstract Title
Eureka	Sihombing	Andreas Michael	Keio University School of Medicine	Protection Against pks ⁺ E. coli
Outstanding	Cota-Coronado	Jose Agustin	Monash University	Prenatal inflammation as a driver of neurodevelopmental and synaptic dysfunction in psychiatric disorders
Awesome	Andersson Rolf	Amanda	Hubrecht Institute	Long-term in vitro expansion of a human fetal pancreas stem cell that generates all three pancreatic cell lineages
Awesome	Coman	Diana	Kings College London	Intestinal organoid co-cultures uncover TGF- β 1-mediated immune-epithelial interactions driven by ILC3
Awesome	Dinarelli	Alberto	Novo Nordisk Foundation Center for Stem Cell Medicine reNEW	Cell proliferation regulates pancreatic-specific chromatin remodelling in ventral foregut
Awesome	Kim	Seongmin	Kyoto University	Organizer-Based in vitro Model of Human Embryonic Development
Awesome	Lee	Jaehun	Institute for Basic Science, Center for Genome Engineering	Epithelial WNT secretion drives niche escape of developing gastric cancer
Awesome	Littleboy	Jamie	Institute of Molecular Biotechnology Austria IMBA	Screening Neanderthal variants in prime-edited human brain organoids with genotyped resolved scRNA-seq
Awesome	Milton	Yuka I.	Cincinnati Children's Hospital and Medical Center	Engineering a psc-derived hepatobiliary-gallbladder model by dictating left-right asymmetric organogenesis
Awesome	Miyauchi	Yui	Keio University School of Medicine	A Novel Culture System Preserves Basal/MaSC Populations to Support Long-Term Mammary Organoid Growth
Awesome	Nakayama	Shogo	RIKEN Center for Biosystems Dynamics Research	Periodic patterning of tracheal cartilage driven by self-organized haptotaxis
Awesome	Taniguchi	Koji	Hokkaido University	GVHD-Induced Inflammatory Memory in Intestinal Stem Cells
Awesome	Wu	Quan	Kyoto University	Epigenetic-metabolic axis in the temporal scaling of mammalian cortical neurogenesis across species

貸借対照表

(2026年3月31日現在)

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	245,899,813	222,579,658	23,320,155
前払金	0	25,200,000	-25,200,000
流動資産合計	245,899,813	247,779,658	-1,879,845
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
現金預金	23,923,594	23,923,594	0
投資有価証券	88,862,939,500	69,887,035,000	18,975,904,500
図書資料	3,063,756,876	3,050,588,438	13,168,438
基本財産合計	91,950,619,970	72,961,547,032	18,989,072,938
(2) 特定資産			
助成基金	19,962,299,107	16,860,057,751	3,102,241,356
杏雨基金	1,178,840,128	225,245,558	953,594,570
武田医学賞基金	967,003,570	0	967,003,570
資産取得資金	243,260,700	244,991,000	-1,730,300
寄附者指定特定基金	2,322,493,328	4,204,308,569	-1,881,815,241
建物	95,134,908	99,840,126	-4,705,218
特定資産合計	24,769,031,741	21,634,443,004	3,134,588,737
(3) その他固定資産			
建物	44,406,146	51,813,191	-7,407,045
什器備品	68,515,927	78,813,145	-10,297,218
ソフトウェア	83,390,531	68,105,535	15,284,996
保証金	50,000	50,000	0
その他固定資産合計	196,362,604	198,781,871	-2,419,267
固定資産合計	116,916,014,315	94,794,771,907	22,121,242,408
資産合計	117,161,914,128	95,042,551,565	22,119,362,563
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	8,657,233	13,930,600	-5,273,367
未払費用	1,458,803	1,575,005	-116,202
預り金	3,430,528	2,788,446	642,082
流動負債合計	13,546,564	18,294,051	-4,747,487
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	7,821,500	9,223,500	-1,402,000
退職給付引当金	6,787,000	7,897,000	-1,110,000
固定負債合計	14,608,500	17,120,500	-2,512,000
負債合計	28,155,064	35,414,551	-7,259,487
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受贈投資有価証券	86,696,016,000	67,547,584,500	19,148,431,500
基本財産受取配当金利息	4,701,361,122	4,640,706,003	60,655,119
指定正味財産合計	91,397,377,122	72,188,290,503	19,209,086,619
(うち基本財産への充当額)	(87,046,125,633)	(67,884,525,695)	(19,161,599,938)
(うち特定資産への充当額)	(4,351,251,489)	(4,303,764,808)	(47,486,681)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(4,904,494,337)	(5,077,021,337)	(-172,527,000)
(うち特定資産への充当額)	(20,417,780,252)	(17,330,678,196)	(3,087,102,056)
正味財産合計	117,133,759,064	95,007,137,014	22,126,622,050
負債及び正味財産合計	117,161,914,128	95,042,551,565	22,119,362,563

正味財産増減計算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,932,835,508	2,887,214,646	45,620,862
基本財産受取配当金	2,904,039,021	2,858,443,388	45,595,633
基本財産受取利息	28,796,487	28,771,258	25,229
特定資産運用益	636,185,287	548,719,840	87,465,447
特定資産受取配当金	515,860,488	500,228,352	15,632,136
特定資産受取利息	120,324,799	48,491,488	71,833,311
雑収益	16,731,935	21,738,219	-5,006,284
受取利息	1,166,474	359,471	807,003
返還助成金	15,565,461	21,378,748	-5,813,287
経常収益計	3,585,752,730	3,457,672,705	128,080,025
(2) 経常費用			
事業費	3,518,873,189	3,399,301,936	119,571,253
武田報彰医学研究助成金	300,000,000	300,000,000	0
ハイリスク新興感染症研究助成金	100,000,000	100,000,000	0
生命科学研究助成金	350,000,000	300,000,000	50,000,000
医学系研究助成金	613,000,000	582,000,000	31,000,000
薬学系研究助成金	101,000,000	97,000,000	4,000,000
ライフサイエンス研究助成金	103,000,000	99,000,000	4,000,000
特定研究助成金	500,000,000	550,000,000	-50,000,000
ビジョナリーリサーチ助成金	274,000,000	265,000,000	9,000,000
理科教育振興助成金	40,500,000	21,000,000	19,500,000
外国人留学助成金	91,529,950	97,314,122	-5,784,172
医学部博士課程奨学助成金	198,100,000	188,200,000	9,900,000
海外研究留学助成金	202,780,000	161,895,000	40,885,000
武田医学賞褒賞金	60,000,000	60,000,000	0
シンポジウムポスター褒賞金	3,100,000	3,000,000	100,000
助成金等費用	40,207,408	37,686,784	2,520,624
役員報酬	11,677,400	11,677,400	0
給料手当	48,147,475	47,605,924	541,551
役員退職慰労引当金繰入額	767,577	800,327	-32,750
退職給付費用	500,000	785,000	-285,000
福利厚生費	9,256,414	9,808,487	-552,073
会議費	59,219,105	45,105,988	14,113,117
旅費交通費	105,122,907	93,223,380	11,899,527
通信運搬費	4,880,559	6,137,341	-1,256,782
減価償却費	45,624,078	33,043,418	12,580,660
消耗品費	8,727,115	11,018,836	-2,291,721
修繕費	34,713,844	33,743,039	970,805
印刷製本費	52,796,497	37,738,056	15,058,441
光熱水料費	2,652,949	3,372,734	-719,785
賃借料	52,430,129	52,390,940	39,189
保険料	6,327,205	6,512,139	-184,934
諸謝金	15,133,352	13,840,650	1,292,702
委託費	80,043,760	92,011,628	-11,967,868
租税公課	42,500	10,850	31,650
広報費	3,029,995	38,007,709	-34,977,714
雑費	562,970	372,184	190,786

管理費	66,879,541	58,370,769	8,508,772
役員報酬	15,867,088	15,192,792	674,296
給料手当	20,607,712	15,433,561	5,174,151
役員退職慰労引当金繰入額	1,189,823	763,673	426,150
退職給付費用	460,000	1,275,000	-815,000
福利厚生費	6,490,921	4,704,971	1,785,950
会議費	2,988,615	2,307,039	681,576
旅費交通費	3,114,245	2,111,225	1,003,020
通信運搬費	487,765	531,978	-44,213
減価償却費	356,587	349,192	7,395
消耗品費	1,608,123	1,742,809	-134,686
修繕費	0	78,540	-78,540
印刷製本費	666,288	314,003	352,285
光熱水料費	1,876,164	1,974,379	-98,215
賃借料	4,041,808	4,004,855	36,953
保険料	150,385	144,681	5,704
諸謝金	84,379	84,379	0
会計監査報酬	2,200,000	2,200,000	0
委託費	4,177,789	4,591,227	-413,438
租税公課	1,100	88,400	-87,300
雑費	510,749	478,065	32,684
経常費用計	3,585,752,730	3,457,672,705	128,080,025
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
基本財産評価損益等	-173,651,688	-188,009,607	14,357,919
基本財産評価損益等	-173,651,688	-188,009,607	14,357,919
特定資産評価損益等	3,091,187,119	370,698,747	2,720,488,372
特定資産評価損益等	3,091,187,119	370,698,747	2,720,488,372
評価損益等計	2,917,535,431	182,689,140	2,734,846,291
当期経常増減額	2,917,535,431	182,689,140	2,734,846,291
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	400,000	-400,000
図書資料受贈益	0	400,000	-400,000
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	385,944	-385,944
固定資産除却損	0	385,944	-385,944
当期経常外増減額	0	14,056	-14,056
当期一般正味財産増減額	2,917,535,431	182,703,196	2,734,832,235
一般正味財産期首残高	22,818,846,511	22,636,143,315	182,703,196
一般正味財産期末残高	25,736,381,942	22,818,846,511	2,917,535,431
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	3,030,687,000	2,938,848,000	91,839,000
基本財産受取配当金	3,030,687,000	2,938,848,000	91,839,000
特定資産運用益	72,839,524	1,650,610	71,188,914
特定資産受取利息	72,839,524	1,650,610	71,188,914
基本財産評価損益	19,148,431,500	3,505,188,500	15,643,243,000
基本財産評価損益	19,148,431,500	3,505,188,500	15,643,243,000
特定資産評価損益	-65,992,860	0	-65,992,860
特定資産評価損益	-65,992,860	0	-65,992,860
一般正味財産への振替額	-2,976,878,545	-2,860,093,998	-116,784,547
一般正味財産への振替額	-2,976,878,545	-2,860,093,998	-116,784,547
当期指定正味財産増減額	19,209,086,619	3,585,593,112	15,623,493,507
指定正味財産期首残高	72,188,290,503	68,602,697,391	3,585,593,112
指定正味財産期末残高	91,397,377,122	72,188,290,503	19,209,086,619
III 正味財産期末残高	117,133,759,064	95,007,137,014	22,126,622,050

正味財産増減計算書内訳表

2025年4月1日から2026年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計								法人会計	内部取引 消去	合 計
	研究助成	奨学助成	武田医学賞	国際シボゾム	本草医書発刊	本草医書公開	共 通	小 計			
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
基本財産運用益	28,796,487	0	0	0	0	0	2,842,558,065	2,871,354,552	61,480,956		2,932,835,508
基本財産受取配当金							2,842,558,065	2,842,558,065	61,480,956		2,904,039,021
基本財産受取利息	28,796,487							28,796,487			28,796,487
特定資産運用益	560,089,577	0	33,718,616	0	0	36,964,219	1,180,764	631,953,176	4,232,111		636,185,287
特定資産受取配当金	515,860,488							515,860,488			515,860,488
特定資産受取利息	44,229,089		33,718,616			36,964,219	1,180,764	116,092,688	4,232,111		120,324,799
雑収益	12,680,461	2,885,000	0	0	0	0	0	15,565,461	1,166,474		16,731,935
受取利息								0	1,166,474		1,166,474
返還助成金	12,680,461	2,885,000						15,565,461			15,565,461
経常収益計	601,566,525	2,885,000	33,718,616	0	0	36,964,219	2,843,738,829	3,518,873,189	66,879,541		3,585,752,730
(2) 経常費用											
事業費	2,528,639,813	563,684,922	91,775,596	114,867,048	37,732,525	182,173,285	0	3,518,873,189			3,518,873,189
武田報彰医学研究助成金	300,000,000							300,000,000			300,000,000
ハイリスク新興感染症研究助成金	100,000,000							100,000,000			100,000,000
生命科学研究助成金	350,000,000							350,000,000			350,000,000
医学系研究助成金	613,000,000							613,000,000			613,000,000
薬学系研究助成金	101,000,000							101,000,000			101,000,000
ライフサイエンス研究助成金	103,000,000							103,000,000			103,000,000
特定研究助成金	500,000,000							500,000,000			500,000,000
ビジョナリーリサーチ助成金	274,000,000							274,000,000			274,000,000
理科教育振興助成金	40,500,000							40,500,000			40,500,000
外国人留学助成金		91,529,950						91,529,950			91,529,950
医学部博士課程奨学助成金		198,100,000						198,100,000			198,100,000
海外研究留学助成金		202,780,000						202,780,000			202,780,000
武田医学賞褒賞金			60,000,000					60,000,000			60,000,000
シンポジウムポスター褒賞金				3,100,000				3,100,000			3,100,000
助成金等費用	26,800,000	2,500,000	2,450,000	240,000	0	8,217,408		40,207,408			40,207,408
役員報酬	4,564,000	2,489,200	1,022,000	456,400	228,200	2,917,600		11,677,400			11,677,400
給料手当	8,812,653	10,704,390	979,183	4,587,594	2,306,366	20,757,289		48,147,475			48,147,475
役員退職慰労引当金繰入額	300,000	163,620	67,178	30,000	15,000	191,779		767,577			767,577
退職給付費用	99,000	119,000	11,000	51,000	22,000	198,000		500,000			500,000
福利厚生費	1,502,710	1,524,608	643,826	1,523,455	0	4,061,815		9,256,414			9,256,414
会議費	15,073,089	8,735,062	8,512,479	24,955,311	0	1,943,164		59,219,105			59,219,105
旅費交通費	25,694,877	27,527,293	6,012,992	39,410,320	0	6,477,425		105,122,907			105,122,907
通信運搬費	1,149,597	213,060	268,569	139,328	1,967,352	1,142,653		4,880,559			4,880,559
減価償却費	9,526,559	1,641,307	2,446,591	356,591	356,591	31,296,439		45,624,078			45,624,078
消耗品費	1,932,416	1,182,056	2,101,885	375,316	0	3,135,442		8,727,115			8,727,115
修繕費	0	0	0	0	0	34,713,844		34,713,844			34,713,844
印刷製本費	16,293,314	404,971	1,244,944	124,660	29,015,144	5,713,464		52,796,497			52,796,497
光熱水料費	453,028	420,807	194,099	420,419	0	1,164,596		2,652,949			2,652,949
賃借料	3,055,188	3,053,521	2,951,604	2,979,311	2,956,461	37,434,044		52,430,129			52,430,129
保険料	4,206	6,309	4,206	4,206	4,206	6,304,072		6,327,205			6,327,205
諸謝金	6,413,172	1,804,522	1,485,953	2,052,919	746,179	2,630,607		15,133,352			15,133,352
委託費	22,831,662	8,067,639	1,224,887	34,029,684	82,526	13,807,362		80,043,760			80,043,760
租税公課	0	0	0	0	32,500	10,000		42,500			42,500
広報費	2,633,400	307,395	79,200	0	0	10,000		3,029,995			3,029,995
雑費	942	410,212	75,000	30,534	0	46,282	0	562,970			562,970

正味財産増減計算書内訳表

2025年4月1日から2026年3月31日まで

管理費									66,879,541		66,879,541
役員報酬									15,867,088		15,867,088
給料手当									20,607,712		20,607,712
役員退職慰労引当金繰入額									1,189,823		1,189,823
退職給付費用									460,000		460,000
福利厚生費									6,490,921		6,490,921
会議費									2,988,615		2,988,615
旅費交通費									3,114,245		3,114,245
通信運搬費									487,765		487,765
減価償却費									356,587		356,587
消耗品費									1,608,123		1,608,123
印刷製本費									666,288		666,288
光熱水料費									1,876,164		1,876,164
賃借料									4,041,808		4,041,808
保険料									150,385		150,385
諸謝金									84,379		84,379
会計監査報酬									2,200,000		2,200,000
委託費									4,177,789		4,177,789
租税公課									1,100		1,100
雑費									510,749		510,749
経常費用計	2,528,639,813	563,664,922	91,775,596	114,867,048	37,732,525	182,173,285	0	3,518,873,189	66,879,541		3,585,752,730
評価損益等調整前当期経常増減額	-1,927,073,288	-560,799,922	-58,056,980	-114,867,048	-37,732,525	-145,209,066	2,843,738,829	0	0		0
基本財産評価損益等	-173,651,688							-173,651,688			-173,651,688
基本財産評価損益等	-173,651,688							-173,651,688			-173,651,688
特定資産評価損益等	3,104,605,323		0			-13,418,204		3,091,187,119			3,091,187,119
特定資産評価損益等	3,104,605,323		0			-13,418,204		3,091,187,119			3,091,187,119
評価損益等計	2,930,953,635		0			-13,418,204		2,917,535,431			2,917,535,431
当期経常増減額	1,003,880,347	-560,799,922	-58,056,980	-114,867,048	-37,732,525	-158,627,270	2,843,738,829	2,917,535,431	0		2,917,535,431
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
経常外収益計								0	0		0
(2) 経常外費用											
経常外費用計								0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	1,003,880,347	-560,799,922	-58,056,980	-114,867,048	-37,732,525	-158,627,270	2,843,738,829	2,917,535,431	0		2,917,535,431
一般正味財産期首残高											22,818,846,511
一般正味財産期末残高											25,736,381,942
II 指定正味財産増減の部											
基本財産運用益							2,714,877,000	2,714,877,000	315,810,000		3,030,687,000
基本財産受取配当金							2,714,877,000	2,714,877,000	315,810,000		3,030,687,000
特定資産運用益			33,718,616			33,718,616	1,180,764	68,617,996	4,221,528		72,839,524
特定資産受取利息			33,718,616			33,718,616	1,180,764	68,617,996	4,221,528		72,839,524
基本財産評価損益							17,153,086,500	17,153,086,500	1,995,345,000		19,148,431,500
基本財産評価損益							17,153,086,500	17,153,086,500	1,995,345,000		19,148,431,500
特定資産評価損益			-32,996,430			-32,996,430		-65,992,860			-65,992,860
特定資産評価損益			-32,996,430			-32,996,430		-65,992,860			-65,992,860
一般正味財産への振替額			-33,718,616			-33,718,616	-2,843,738,829	-2,911,176,061	-65,702,484		-2,976,878,545
一般正味財産への振替額			-33,718,616			-33,718,616	-2,843,738,829	-2,911,176,061	-65,702,484		-2,976,878,545
当期指定正味財産増減額								16,959,412,575	2,249,674,044		19,209,086,619
指定正味財産期首残高											72,186,290,503
指定正味財産期末残高											91,397,377,122
III 正味財産期末残高											117,133,759,064

貸借対照表を会計区分していないため、一般正味財産期首残高、一般正味財産期末残高及び、指定正味財産期首残高、指定正味財産期末残高並びに正味財産期末残高は合計欄に記載している。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	9,223,500	1,500,000	2,902,000	0	7,821,500
退職給付引当金	7,897,000	840,000	1,950,000	0	6,787,000

キャッシュ・フロー計算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 事業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	3,058,358,799	2,966,487,151	91,871,648
配当金収入	3,030,687,000	2,938,848,000	91,839,000
利息収入	27,671,799	27,639,151	32,648
特定資産運用収入	638,540,050	551,352,063	87,187,987
配当金収入	515,860,488	500,228,352	15,632,136
利息収入	122,679,562	51,123,711	71,555,851
寄付金収入	0	0	0
雑収入	16,731,935	21,738,219	-5,006,284
利息収入	1,166,474	359,471	807,003
返還助成金	15,565,461	21,378,748	-5,813,287
事業活動収入計	3,713,630,784	3,539,577,433	174,053,351
2. 事業活動支出			
研究助成事業支出	2,518,928,573	2,467,030,296	51,898,277
奨学助成事業支出	537,309,549	528,958,180	8,351,369
武田医学賞褒賞事業支出	89,315,155	125,711,374	-36,396,219
国際シンポジウム事業支出	114,380,391	94,654,447	19,725,944
本草医書発刊事業支出	37,308,610	11,200,894	26,107,716
本草医書公開事業支出	154,017,015	146,407,313	7,609,702
公益目的事業共通費支出	0	0	0
管理費支出	67,447,959	59,351,893	8,096,066
事業活動支出計	3,518,707,252	3,433,314,397	85,392,855
事業活動によるキャッシュ・フロー	194,923,532	106,263,036	88,660,496
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 投資活動収入			
基本財産取崩収入	0	0	0
基本財産普通預金収入	0	0	0
基本財産投資有価証券償還収入	0	0	0
特定資産取崩収入	13,168,438	18,216,120	-5,047,682
特定資産普通預金収入	0	0	0
特定資産投資有価証券償還・売却収入	0	0	0
特定資産寄附者指定特定基金取崩収入	13,168,438	18,216,120	-5,047,682
投資活動収入計	13,168,438	18,216,120	-5,047,682
2. 投資活動支出			
基本財産取得支出	13,168,438	18,216,120	-5,047,682
基本財産普通預金支出	0	0	0
基本財産投資有価証券取得支出	0	0	0
図書資料取得支出	13,168,438	18,216,120	-5,047,682
特定資産取得支出	131,353,197	85,109,830	46,243,367
特定資産普通預金支出	0	0	0
特定資産投資有価証券取得支出	0	0	0
特定資産資産取得資金取得支出	0	0	0
特定資産寄附者指定特定基金取得支出	131,353,197	85,109,830	46,243,367
固定資産取得支出	40,250,180	33,444,859	6,805,321
建物購入支出	0	0	0
什器備品購入支出	6,469,030	11,066,000	-4,596,970
ソフトウェア購入支出	33,781,150	22,378,859	11,402,291
投資活動支出計	184,771,815	136,770,809	48,001,006
投資活動によるキャッシュ・フロー	-171,603,377	-118,554,689	-53,048,688
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	0	0
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	0
V 現金及び現金同等物の増減額	23,320,155	-12,291,653	35,611,808
VI 現金及び現金同等物の期首残高	222,579,658	234,871,311	-12,291,653
VII 現金及び現金同等物の期末残高	245,899,813	222,579,658	23,320,155

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
- ① その他有価証券
(時価のあるもの) 期末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は正味財産増減として処理し、売却原価は移動平均法により算定)によっている。
- (2) 固定資産の減価償却方法
- ① 建物 定額法によっている。
② 什器備品 定額法によっている。
③ ソフトウェア 定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準
- ① 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支給に備えるため、理事・監事報酬等規程に基づく期末要支給額を計上している。
② 退職給付引当金 職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期において発生していると認められる額を計上している。
- (4) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲
資金の範囲には、手元現金及び随時引き出し可能な預金を含めている。
- (5) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
現金	23,923,594	0	0	23,923,594
投資有価証券	69,887,035,000	19,148,431,500	172,527,000	88,862,939,500
図書資料	3,050,588,438	13,168,438	0	3,063,756,876
小 計	72,961,547,032	19,161,599,938	172,527,000	91,950,619,970
特定資産				
助成基金	16,860,057,751	3,259,300,356	157,059,000	19,962,299,107
杏雨基金	225,245,558	1,000,000,000	46,405,430	1,178,840,128
武田医学賞基金	0	1,000,000,000	32,996,430	967,003,570
資産取得資金	244,991,000	0	1,730,300	243,260,700
寄附者指定特定基金	4,204,308,569	131,353,197	2,013,168,438	2,322,493,328
建物	99,840,126	0	4,705,218	95,134,908
小 計	21,634,443,004	5,390,653,553	2,256,064,816	24,769,031,741
合 計	94,595,990,036	24,552,253,491	2,428,591,816	116,719,651,711

- (注) 1. 基本財産の投資有価証券の当期増加額は株式の時価評価益、当期減少額はその他債券の時価評価損及び償却原価等である。
2. 特定資産の助成基金の当期増加額は株式の時価評価益、当期減少額はその他債券の時価評価損及び償却原価等である。
3. 特定資産の杏雨基金及び武田医学書基金の当期増加額は寄附者指定特定基金から移管した金銭信託設定額、当期減少額はその他債券の時価評価損及び償却原価、金銭信託評価損等である。

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
現金	23,923,594	(0)	(23,923,594)	(0)
預金	88,862,939,500	(86,696,016,000)	(2,166,923,500)	(0)
投資有価証券	3,063,756,876	(350,109,633)	(2,713,647,243)	(0)
小計	91,950,619,970	(87,046,125,633)	(4,904,494,337)	(0)
特定資産				
助成基金	19,962,299,107	(0)	(19,962,299,107)	(0)
杏雨基金	1,178,840,128	(967,003,570)	(211,836,558)	(0)
武田医学賞基金	967,003,570	(967,003,570)	(0)	(0)
資産取得費	243,260,700	(0)	(243,260,700)	(0)
寄附者指定特定基金	2,322,493,328	(2,322,109,441)	(383,887)	(0)
建物	95,134,908	(95,134,908)	(0)	(0)
小計	24,769,031,741	(4,351,251,489)	(20,417,780,252)	(0)
合計	116,719,651,711	(91,397,377,122)	(25,322,274,589)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
建物	166,165,775	71,030,867	95,134,908
その他固定資産			
建物	182,965,183	138,559,037	44,406,146
什器備品	352,535,173	284,019,246	68,515,927
ソフトウェア	172,253,542	88,863,011	83,390,531
合計	873,919,673	582,472,161	291,447,512

5. 金融商品の状況

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源を受取配当金、受取利息によって賄うため、安全性の高い有価証券及び定期預金等により資産運用している。なお、投機目的の取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びリスク

有価証券は、主に公社債及び寄附者からの出損・増資により保有する株式であり、配当方針、市場価格の変動リスク及び発行体の信用リスクに晒されている。

定期預金は、預入先の信用リスクに晒されているが、預入先は信用度の高い銀行である。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

①金融商品の取引は、当法人の資金運用規則に基づき行っている。

②信用リスクの管理

有価証券については、発行体の財務状況や格付機関による格付状況を定期的に把握し、理事会等に報告している。

③市場リスクの管理

有価証券については、時価を定期的に把握し、理事会等に報告している。

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取配当金 (目的達成による指定解除額)	2,899,333,803
基本財産受取配当金 (減価償却費計上による振替額)	4,705,218
特定資産受取利息 (目的達成による指定解除額)	72,839,524
合 計	2,976,878,545

7. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

(1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下のとおりである。

(単位：円)

前 期 末		当 期 末	
現金預金勘定	222,579,658	現金預金勘定	245,899,813
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	0	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	0
現金及び現金同等物	222,579,658	現金及び現金同等物	245,899,813

(2) 重要な非資金取引は以下のとおりである。

前 期 末	当 期 末
—	—

財 産 目 録

2026年3月31日現在

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金			245,899,813
現金	手元保管	運転資金として	805,058
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	"	110,006,321
普通預金	三井住友銀行十三支店	"	135,088,434
流動資産合計			245,899,813
(固定資産)			
基本財産			91,950,619,970
現金預金			23,923,594
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	23,923,594
投資有価証券			88,862,939,500
株式	(武田薬品(株)15,306,500株)		86,696,016,000
公益目的事業会計	13,711,500株	89.6%は公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の共通の財源として使用している。	77,661,936,000
法人会計	1,595,000株	10.4%は公益目的事業に必要な管理費の財源として使用している。	9,034,080,000
公社債		公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	2,166,923,500
その他債券	第131回利付国債(20年)		248,000,000
	第10回利付国債(30年)		94,090,000
	第11回利付国債(30年)		234,480,000
	第143回利付国債(20年)		145,965,000
	第151回利付国債(20年)		367,600,000
	第152回利付国債(20年)		91,480,000
	第155回利付国債(20年)		123,858,000
	第157回利付国債(20年)		320,760,000
	第181回利付国債(20年)		356,867,000
	第187回利付国債(20年)		183,823,500
図書資料		公益目的保有財産であり、本草医書公開事業に供している不可欠特定財産である。	3,063,756,876
		(公益認定前取得額合計)	2,041,811,323
	本草関係書類	(故) 武田長兵衛氏 寄贈 2,488部	409,230,000
	東洋学善本	(故) 武田長兵衛氏 寄贈 1,337部	570,816,000
	本草・医書・関係書籍	武田薬品工業(株) 寄贈 16,586部	339,860,500
	医家墨蹟類	武田薬品工業(株) 寄贈 589点	23,745,000
	医療器具類	武田薬品工業(株) 寄贈 150点	3,700,000
	武田家文書	武田家 寄贈 2,396部	232,500
	村上文書	武田家 寄贈 (書状5,000通含) 909部	8,990,000
	洗心文庫追加	武田家 寄贈 195部	154,935,000
	羽田文庫	武田家 寄贈 758部	62,000,000
	医書関係書籍	1978年度購入阿知波文庫 1333部	8,665,350
	医書関係書籍	1991年度購入 4部	1,313,250
	半井家本医心方	1992年度購入 8部	236,900
	Siebold's Florilegium of Japanese Plants	1994年度購入 5部	937,300
	宋版 經史證類備急本草	1997年度購入 5部	203,940
	中葉大辞典	1999年度購入 5部	308,700
	本草図譜	1999年度購入 1部	506,520
	東洋医学書善本叢書	2000年度購入 20冊	681,345
	本草肉摺	2000年度購入 4帙23冊	8,925,000
	黄帝内經素問診解他	"	29冊
	医心方続編	2000年度購入 12冊	488,250
	萬金産業袋	2001年度購入 5冊	189,000
	中国本草全書	2001~2002年度購入 411冊	8,908,333
	金陵本 本草綱目	2002年度購入 7	236,250
	「蘭」川澄理三郎彩色肉筆画	2002年度購入 109枚	1,260,000
	BOTANICAL CABINET	"	20冊2000枚
	HOOKER'S EXOTIC FLORA	"	3冊233枚
	THE BOTANICAL REGISTER	2003年度購入 34冊	7,875,000
	鴻寶秘要抄	"	1冊
	統添鴻宝秘要抄抜書	"	1冊
	江馬榴園書状集	2003年度購入 1冊	357,710
	衍義本草	2004年度購入 21冊	9,450,000
	医方大成	"	5冊
	医林類証集要	"	20冊
	世医得効方	"	20冊
	植物誌が 浮世図書館	2005年度購入 1冊	1,197,000
	蔵本フクシ版	"	1冊
	補遺雷公炮製便覧	"	13冊
	東洋医学雑誌復刻彙書	"	8冊
	常陸文庫	"	571部
	Grondbeginselen der scheidkunde door A. L. Lavoisier	2006年度購入 1部	2,200,000

図書資料

長崎西家由緒書	"	1冊	252,000
野間玄球書状	"	1冊	170,000
奈須玄忠・玄竹書状集	"	1冊	420,000
帆足万里書状	"	1冊	252,000
権田直助書状集	"	1冊	220,000
ヘボン氏手術図以下	2007年度購入	126点	22,050,000
キニホフ植物印影図譜	"	1冊	4,200,000
本草品彙精要写本	"	6冊	367,500
松本文庫	2008年度購入	207点	126,000,000
一神論・序廳迷詩所経	"	2巻	577,500
曲直瀬道三自筆啓迪集	"	2冊	7,000,000
森鷗外書簡巻	"	1通	1,400,000
ベルセリウス：化学教書	"	6冊	660,000
エウスタキオ画：解剖図表	"	1冊	450,000
森鷗外自筆書簡	2009年度購入	1通	1,489,000
香葉抄	"	1冊	7,896,000
小関仁一郎書簡巻	"	1巻	300,000
Molecular Structure of Nucleic Acids, Nature 171:1~3, 1953 Watson JD and Crick FHC他	"	19冊	15,579,900
二宮文庫	"	268点	52,500,000
医方考	2010年度4月～11月購入	6冊	4,800,000
意伝鈔	"	1冊	360,000
ローベル：草木誌	"	1冊	2,173,500
ラノウ：博物陳列室	"	1冊	282,555
シヨメル：家政事典初版（フランス語）	2010年度4月～11月購入	1冊	724,500
田中彌性園文庫	"	700点	65,724,750
沢庵宗彭自筆刺針要致	"	1巻	1,260,000
配済録他	"	3冊	1,462,960
医心方提要他	"	13冊	2,276,960
	(以上、公益認定前取得)		
	(以下、公益認定後取得)		
	(公益認定後取得額合計)		1,021,945,553
方業順次要	2010年度1月購入	3冊	262,500
lennec Stethoscope. c. 1819	2010年度1月購入	1冊	1,575,000
森鷗外草稿	2011年度購入	2冊	615,980
石原保秀文庫	2011年（財）日本漢方医学研究所より寄附	2384冊	44,231,250
新編俗解八十一難経図要	2011年度購入	1冊	1,200,000
解剖学蘭訳初版	"	1冊	6,500,000
小曾戸文庫	"	1802点	261,092,470
Ontleding des Menschelyken	"	1冊	1,995,000
外科学入門	"	1冊	367,500
トーマス・バルトリン「解剖学」	"	1冊	262,500
師弟問答	"	1冊	4,500,000
曲直瀬道三書状	"	1冊	650,000
合業直伝集	"	1冊	350,000
岡本玄治書状	"	1部	157,500
方肥劑	"	1冊	340,980
古医書写本	"	9冊	560,980
医学正伝	"	8冊	945,980
證類本草序列	"	1冊	2,250,000
ショル：日用百科事典	2012年度購入	16冊	1,575,000
ハットゥン：リンネの体系にもとづく自然誌	"	37冊	2,100,000
ワルネット：自然の教理問答	"	4冊	81,900
バスター：科学の楽しみ	"	1冊	441,000
ショアレンゲル：植物学入門	"	3冊	126,000
ジャウリン：植物学入門	"	1冊	79,800
デイエス：王立植物園での実演による血液循環および新発見に基づく人体の解剖	"	1冊	56,133
橋本高秀静山、建吉巨梅、宗建和山、高連峽山像	"	4幅対	100,000
浅田栗園先生母堂栗園宛消息	"	4通	85,000
鈴木松塘・菜圃 浅田栗園宛書簡他	"	26通	250,000
長崎医師笠戸正胤・西道仙 浅田栗園宛書簡他	"	10通	200,000
名家書簡	"	46通54紙	2,625,000
ワルティン：哲学教師または現代実験自然学概説	"	1冊	94,500
医学正伝	"	8冊	7,500,000
奥田・藤平文庫	"	668点	13,760,460
古文孝経	"	1巻	12,055,970
神農皇帝真伝灸図	"	1冊	285,990
校正本 救荒本草・救荒野譜	"	3冊	395,990
草之名集 秋之部	"	1冊	175,990
新刊 大観本草	"	20冊	1,759,990
日本植物図譜	"	1冊	1,088,990
察病指南	"	1冊	285,990
意伝普教録	"	1冊	285,990
節齋漫録	"	3冊	2,210,990
大成論抄	"	1冊	340,990
禽獸魚介蟲図譜	"	4冊	1,759,990
医家本草家書状	"	1巻	420,000

図書資料

大塚修琴堂文庫	"	2985点	139,987,890
中西深斎 尺牘	2013年度購入	1軸	380,000
曲直瀬道三自筆所持本 醫方大成論・宜禁本草	"	2冊	9,000,000
素問入式運氣論奥	"	1冊	3,500,000
重修政和經史證類備用本草（卷十五～十七）	"	1冊	252,000
吉雄幸作・俊歳書簡	"	1巻	420,000
江馬春齡・蘭斎書簡	"	1巻	330,000
ターヘル・アナトミア	"	1冊	290,200
日本医史学会文庫	"	38点	7,980,500
大阪華岡塾合水堂文庫	"	319点	42,765,760
レムリン「小宇宙図譜」ラテン語&オランダ語 第3版	2014年度購入	1冊	1,296,000
刈谷藩士本草学者穴戸昌 自筆文書	"	12冊	525,000
伊藤（圭介・延吉・寛太郎）家伝来文書	"	9幅	5,450,000
射野山艮花書画	"	1巻	270,000
蘭畹摘芳草稿	"	1冊	1,700,000
大阪華岡塾合水堂文庫	"	12点	20,422,500
本間玄調肖像	"	1幅	315,000
ニーランド「ネーデルラント薬用草木誌」	2015年度購入	1冊	540,000
クルムス「ターヘル・アナトミア」	"	1冊	3,078,000
難波抱節自筆稿本・旧蔵写本・版本一括	"	21冊	367,500
二十八宿三微垣並星象畧図	"	1冊	84,000
家宝全書・清嘉録・医謬正俗難波抱節自筆本	"	7冊	148,500
解体新書	"	5冊	4,000,000
古文孝経	"	1冊	8,500,000
玉機微義	"	12冊	6,500,000
杉立文庫	"	26点	5,990,560
古訓医伝薬能方法辨	"	5冊	36,750
傷寒論国字辨	"	1冊	31,500
傷寒論辨正	"	1冊	15,750
傷寒外伝	"	1冊	42,000
五書剔植	"	1冊	63,000
傷寒論識	"	6冊	15,750
傷寒論特解	"	1冊	73,500
家刻傷寒論	"	1冊	63,000
傷寒貫珠集	"	1冊	73,500
喻嘉言先生傷寒尚論篇全書	"	1冊	63,000
金匱正辨	"	1冊	10,500
傷寒論劉氏伝	"	1冊	15,750
傷寒論權義	"	1冊	94,500
傷寒論大意	"	1冊	31,500
キニホフ「Botanica in Originali Pharmaceutica」	"	1冊	997,207
温知堂文庫	"	619点	19,440,000
解体新書	"	5冊	3,591,000
経史證類大観本草	"	25冊	1,200,000
本間玄調松延定雄（松延年）往復書簡・青山延光本	2016年度購入	2巻	210,000
問玄調宛書簡	"	1冊	31,500
千魚一観録	"	1冊	31,500
小曾戸文庫	"	632点	80,935,050
スマリー「産科学解剖図録」	"	1冊	1,404,000
時還読我書捷見	"	1冊	270,000
参製口訣稿本 二種	"	2冊	270,000
宋本素問版心文字録	"	1冊	162,000
遊仙窟	"	1冊	270,000
劉向新序 十巻	"	2冊	432,000
素女妙論	"	1冊	64,800
素女妙論	"	1冊	37,800
黄素之妙論	"	1冊	129,600
黄素妙論	"	1冊	129,600
釋糸付釋麻	"	1冊	210,000
東大寺古文書	"	1幅	105,000
多紀元簡自画像	2017年度購入	1幅	70,000
医心方	"	30冊	3,240,000
三医聖画像（三幅対）	"	3幅	54,000
黄帝秘要良方	"	1冊	270,000
扁鵲倉公列伝剖解	"	1冊	162,000
傷寒論述義	"	1冊	378,000
業雅	"	1冊	194,400
新刊京本活人心法	"	1冊	486,000
増修無冤録大全	"	1冊	216,000
医学院学範 第一編三巻	"	3冊	31,500
温疫論	"	2冊	8,400
温疫論私評	"	2冊	36,750
華氏解剖摘要九巻	"	2冊	42,000
金鷄医談	"	1冊	31,500
種痘傳習録	"	1冊	31,500
内科新説	"	3冊	6,300
博物新編 三刻	"	3冊	5,250
京都典薬寮医師大野家旧蔵資料	"	一括	840,000

図書資料

杉田玄白肖像画	"	1幅	20,000
神農像	"	1幅	80,000
神農像 附肖像木版画	"	2幅	150,000
ルードヴィヒ「植物学講義」初版	"	1冊	248,400
菅一学士入余門云々	"	1軸	550,000
伊藤圭介葉書・書状	2018年度購入	一括	150,000
長井長義朝鮮視察時写真帖	"	1冊	105,000
察病指南 室町中期刊 五山版	"	1冊	10,800,000
羽田文庫	"	116点	40,503,750
察病指南	"	1冊	126,000
養生月覧	"	1冊	63,000
香川修徳書状	"	1通	30,240
富士川游書	"	1幅	108,000
列仙傳巻物(小曾戸文庫追加)	小曾戸 洋氏 寄贈	2巻	2,835,000
神農図 月巻画	2019年度購入	1幅	48,600
三医神像	"	1幅	108,000
神農像 様同齊筆	"	1幅	84,240
張仲景像 吉益北洲画并題	"	1幅	130,600
新宮涼閣コレラ病詩	"	1幅	62,640
北山寿安医事消息	"	1幅	175,987
京都医塾有功館門人姓名録並由緒書	"	1組	153,986
月巻画 三国志治療之図	"	1幅	175,987
ヨンケル「瑞穂草」	"	3冊	183,600
シヨイベ「日本における病気の臨床所見」	"	1冊	64,800
シヨイベ「日本人の脚気」	"	1冊	84,240
田代玄快肖像画幅	"	1幅	28,000
増地長喬肖像画幅	"	1幅	4,400
増地長喬肖像画幅	"	1幅	3,600
切紙下巻	"	1冊	32,000
浅田宗伯書簡	"	1通	220,000
頼松庵肖像画幅	"	1幅	20,000
スメリー「産科論」初版	"	1冊	594,000
新刊万病回春	"	5冊	1,660,983
大坂狭山藩医笠原玄策・浅田宗伯他書簡	"	1巻	725,987
ツェンベリ「ヨーロッパ、アフリカ、アジア旅行記 1770-1779年」	"	4冊	682,000
延寿帯効用略記	"	1冊	8,900
矢数家所蔵温知社及び浅井家遺品	"	37点	9,555,000
結髪居別集序	"	1巻	220,000
神農像掛軸(小曾戸文庫追加)	小曾戸 洋氏 寄贈	4幅	698,250
各務小木骨	2020年度購入	一括	7,700,000
カウパー「人体解剖図説」ラテン語初版 1739年	"	1冊	1,650,000
ライデン刊	"		
椿庭隨筆	"	1冊	88,000
古方類按	"	3冊	715,000
学海堂医話	"	2冊	220,000
瘍科広要 巻之一	"	1冊	495,000
内科闡微私評	"	1冊	275,000
結髪居別集 巻三・四	"	1冊	385,000
医範提綱内象銅版図	"	1冊	395,980
病草紙	"	1巻	385,000
オスカンプ等篇「薬用植物図譜」全6巻	"	6冊	1,430,000
蘭訳版初版 1796-1800年	"		
丸亀尾池家医学関係資料	"	9幅1冊	4,614,750
矢数文庫	"	54点	37,059,750
敦煌莫高窟秘本一神論殘巻	"	1冊	198,000
貴目帖	2021年度購入	1帖	495,000
仁斎直指	"	7冊	4,630,983
寒窓吟嘯	"	2冊	230,989
瓊桃集	"	1冊	340,988
黄帝内經太素	"	1巻	49,500,000
延寿類要	"	1冊	935,000
瀋本医説抄録	"	1冊	38,500
神農図 延寿院橘玄淵画讃	"	1幅	110,000
福井隸園(晋) 遠雁余声五言律詩	"	1幅	41,800
ヨンストン「動物図説」蘭語版・初版 1660年	"	1冊	2,420,000
長野文庫	"	28点	5,281,500
読書漫録	"	3冊	450,980
多紀元堅	"	1幅	151,000
漫遊雜記 巻上	"	1冊	38,500
医嗽 欠有	"	4冊	495,000
成章堂家蔵方	"	1冊	71,500
栗園日抄	"	1冊	66,000
栗園録稿并掌記 二	"	1冊	385,000
読書漫録 巳	"	1冊	220,000
ロッテルダム薬局方第3版1736年	"	1冊	242,000
浅田恭悦書簡	"	1通	13,000
森立之書簡	"	1通	84,000
ブラッハ「ベルギー薬局方の調剤帳」初版 1829年	"	1冊	242,000
和智新妻文庫医学関係書	"	一括	539,170
和智・新妻文庫	2022年度購入	263点	10,783,500
癩疫論刊誤 巻四	"	1冊	330,000
延寿院家丸散方・山科家丸散方	"	2巻	153,988
栗園謄稿	"	1冊	593,985
浅田宗伯伝記(付中野康章身上資料)	"	6冊(付1冊2枚)	285,987
神農像刀劍柄頭	"	1組	316,500

図書資料

当流酬医碩得	1冊	192,585
恵徳方 卷三上	1冊	170,385
ライレッセ「大画法書」(蘭語版)1740年	洋1冊	220,000
傷寒論拆義 五冊・皇朝医叢統篇 一冊	6冊	454,989
刀暇録	4冊	888,000
神農本経記聞	3冊	300,699
曲直瀬玄鑑書状	1幅	333,000
曲直瀬玄澗書状	1幅	333,000
小野蘭山書状	1通	322,998
福井恒斎書幅	1幅	222,111
本草関係写本	32冊一括	454,989
中野康章資料	1箱一括	367,299
医心方	19冊	4,400,000
ゴルテル「新精選外科学」(蘭訳・第3版)1762年	1冊	363,000
格致餘論鈔 全五卷	5冊	100,000
升采丹製法秘伝	1冊	25,000
浅田宗伯書幅	2幅	170,000
神農図	1幅	63,000
三好退蔵書簡巻 佐伯理一郎宛4通	1巻	70,000
司馬凌海書幅	1幅	73,500
白澤図	1幅	60,000
ウインスロウ「人体構造の記述解剖学」初版 1732年 バリ刊	洋1冊	550,000
養寿院秘録	2023年度購入	1冊 21,000
曲直瀬道三書簡	1通	308,000
丹溪心法大全	4冊	2,212,210
曲直瀬道三書状	1通	385,000
香宿茗話	1冊	198,000
大槻玄沢書状	1通	400,000
福原五岳画張仲景像	1軸	45,000
切紙 曲直瀬玄鑑奥書古写本	1冊	1,155,000
後藤良山手簡之山脇東洋識語	1幅	280,000
浅田宗伯筆 水志序	1幅	200,000
片倉玄周七絶書幅	1幅	150,000
森立之詩幅	1幅	150,000
因南先生新論	1冊	31,500
上清紫庭追勞仙方論法	1冊	21,000
越児実幾經驗書 卷二、三	2冊	10,500
神道方笈揮 卷之上	1冊	21,000
痘家摘要	1冊	42,000
間窓偶筆	1冊	21,000
北里文太郎自筆資料	12点	40,000
入澤達吉マクリ	1枚	10,500
坂上元丈書状	1通	15,000
文政12年年始差出諸用文書控	1冊	40,000
大阪市中賣薬店数望	1枚	22,000
尾張名所図会 前編・後編	13冊	120,000
越俎業誌	1冊	346,320
中山玄亭自筆(北辰妙見宮)御袖専	長野 仁氏 寄贈	1巻 15,000
中山玄亭書簡	3通	15,000
小匙	小曾戸 洋氏 寄贈	3点 90,000
相模和田文庫	2023年度購入	231点 8,352,000
時選読我書	2024年度購入	4冊 1,992,207
配劑扣帳	2冊	221,212
本草書籍考	1冊1枚	122,217
貝原益軒自筆書状	1巻	221,212
新製輿地全図	1巻	111,206
満洲魯西亜疆界図	1舗	111,206
小柴胡湯図/冬菜図/七種図	3幅	450,000
稲生若水・貝原益軒・小野蘭山書状集	1巻	1,320,000
東西蝦夷 山川地理取調図	27舗	2,200,000
徂徠先生周尺考	1冊	13,000
医綱提要	4冊	150,000
米沢藩医堀内家旧蔵書状・画まくり	一括(64点)	250,000
秦佐八郎・藤浪鑑業書	1枚	10,000
五代武田長兵衛書簡	2通	20,000
白澤遊怪図	1幅	220,000
神農像	1幅	495,000
北里柴三郎書簡	2巻	5,673,236
穴戸昌閔係書類	一括(約50点)	567,197
解体新書	5冊(付元袋1枚)	2,565,197
浅田宗伯書状集	1巻	1,100,000
家庭業業箱(大心)	東野 治之氏 寄贈	1箱 20,000
家庭業業箱(みもとん ワキ胃腸丸)	東野 治之氏 寄贈	1箱 30,000
万国地球細見全図	小曾戸 洋氏 寄贈	1舗 367,500
医学原理	2024年度購入	12冊 385,730
曲直瀬道三 書状	2025年度購入	1幅 880,000
医編七巻	6冊	198,000
王氏医案	4冊	462,000
医学指帰	2冊	385,000
霄鵬先生遺著	3冊	198,000
伊豆修善寺温泉細図	1枚	15,000
金匱気血水記聞	1冊	25,000
今村了庵稿「医道私擬学則」	1冊	200,000
導引活用伝	2冊	180,000
新宮涼閣自筆校本「コロリ記事」	1冊	200,000

図書資料	こがらし竹斎 難病療治	"	2枚	50,000
	小野蘭山書状	"	1枚	385,000
	一流三臓之脉法・中風偏枯之論	"	2枚	276,220
	楓亭先生口授 附試調丸散方	"	2冊	143,000
	文政十三年 福井晋診察日誌	"	1冊	165,000
	診脈口訣	"	1冊	88,000
	傷寒論読十卷	"	2冊	132,000
	傷寒論読解七卷	"	2冊	132,000
	水谷豊文・義三郎書状	"	1巻	132,000
	畑黄山漢詩稿他貼交	"	1巻	242,000
	慶應義塾大学教授西野忠次郎宛医師書簡他一括	"	25点	200,000
	坂本恒雄医博旧蔵書簡	"	1巻	120,000
	中神家所蔵資料	"	27点	2,835,000
	橘黄年譜	"	3冊	1,445,100
	曲直瀬道三書状	"	1幅	668,118
	校正註方良本 易簡方論	"	1冊	150,000
	躰寿館園中東江寺会集 品物目録	"	1冊	33,000
	後藤長山自筆書状	"	1幅	150,000
	楓亭病因考	"	1冊	20,000
	中神家所蔵資料 追加分	"	7点	584,000
心印紺珠経	"	2冊	1,980,000	
新刊外科政宗	"	2冊	495,000	
特定資産				24,769,031,741
助成基金				19,962,299,107
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。		31,254,723
定期預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。		800,000,000
投資有価証券		公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。		19,131,044,384
株式	武田薬品(株) 2,605,356株			14,756,736,384
公社債				4,374,308,000
その他債券	第11回利付国債(30年)			146,550,000
	第137回利付国債(20年)			197,160,000
	第139回利付国債(20年)			588,480,000
	第141回利付国債(20年)			196,320,000
	第148回利付国債(20年)			381,400,000
	第149回利付国債(20年)			95,020,000
	第151回利付国債(20年)			275,700,000
	第152回利付国債(20年)			182,960,000
	第155回利付国債(20年)			88,470,000
	第157回利付国債(20年)			240,570,000
	第8回東京電力パワーグリッド債			197,180,000
	第25回東京電力パワーグリッド債			193,620,000
	第39回東京電力パワーグリッド債			94,810,000
	第515回関西電力債			194,920,000
	第484回九州電力債			94,390,000
	第489回九州電力債			374,160,000
	第404回中国電力債			291,930,000
	第227回神奈川県公募債			88,803,000
	第471回大阪府公債			361,040,000
	北海道令和2年度第21回公募債			45,940,000
	広島県令和3年度第5回公募債			44,885,000
杏雨基金				1,178,840,128
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を本草医書公開事業の財源として使用している。		1,432,558
公社債				210,404,000
その他債券	第152回利付国債(20年)	公益目的保有財産であり、運用益を本草医書公開事業の財源として使用している。		
金銭信託	野村信託銀行	公益目的保有財産であり、運用益を本草医書公開事業の財源として使用している。		967,003,570
武田医学賞基金				967,003,570
金銭信託	野村信託銀行	公益目的保有財産であり、運用益を武田医学書事業の財源として使用している。		967,003,570
資産取得資金				243,260,700
現金預金	公益目的事業会計	公益目的事業の用に供する固定資産の取得に充てるために使用している。		237,840,700
現金預金	法人会計	管理業務の用に供する固定資産の取得に充てるために使用している。		5,420,000
寄附者指定特定基金				2,322,493,328
現金預金	公益目的事業会計	公益目的保有財産であり、寄附者から指定された基金として公益目的事業及び公益目的事業に必要な管理業務の財源として使用している。		813,366,418
現金預金	法人会計			1,509,126,910
建物	公益目的事業会計			95,134,908
	新南館書庫	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業の建物として使用している。		95,134,908

その他固定資産			196,362,604
建物 公益目的事業会計 法人会計 什器備品 公益目的事業会計 法人会計 ソフトウェア 公益目的事業会計 公益目的事業会計 公益目的事業会計 法人会計 保証金 法人会計	道修町ビル	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業の建物として使用している。	44,406,146
	道修町ビル	公益目的事業に必要な管理業務に使用している。	9,651,425
			34,754,721
	自動化書庫装置一式	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業の什器備品として使用している。	68,515,927
	道修町ビル1F展示室備品	"	65,708,911
	道修町ビル3Fセキュリティーゲート、4F書架	"	55,730,743
	図書閲覧サーバー	"	225,337
	奨学助成サーバー	"	3,769,953
	武田医学賞70周年記念動画	公益目的保有財産であり、奨学助成事業の什器備品として使用している。	4,194,635
		公益目的保有財産であり、武田医学賞事業の什器備品として使用している。	743,243
			1,045,000
	サーバーラック	公益目的事業に必要な管理業務に使用している。	2,807,016
	武田科学振興財団DVD	"	263,209
	居室 家具	"	236,959
	武田科学振興財団紹介コンテンツ表示用PC他	"	272,672
		2,034,176	
研究助成システム	公益目的保有財産であり、研究助成事業のソフトウェアとして使用している。	83,390,531	
自動化書庫関連システム	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業のソフトウェアとして使用している。	31,005,554	
外国人留学助成、医学部博士課程奨学助成、海外研究留学助成支援システム	公益目的保有財産であり、奨学助成事業のソフトウェアとして使用している。	47,818,230	
財団Webサイト	公益目的事業に必要な管理業務のソフトウェアとして使用している。	2,601,824	
		1,964,923	
セコム警備保証金	公益目的事業に必要な管理業務に使用している。	50,000	
固定資産合計			116,916,014,315
資産合計			117,161,914,128
(流動負債)			
未払金 未払費用 預り金	未払金	有限責任監査法人トーマツ 常勤役員に対するもの 職員に対するもの	8,657,233
			2,200,000
			1,630,000
			4,827,233
	未払費用	常勤役員・職員に対するもの	1,458,803
			1,458,803
預り金		3,430,528	
		619,400	
		1,780,217	
		1,030,911	
流動負債合計			13,546,564
(固定負債)			
役員退職慰労引当金	役員に対するもの	常勤理事に対する退職慰労金の支払に備えたもの	7,821,500
退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払に備えたもの	6,787,000
固定負債合計			14,608,500
負債合計			28,155,064
正味財産			117,133,759,064

独立監査人の監査報告書

2026年4月17日

公益財団法人武田科学振興財団

理事会 御中

有限責任監査法人トーマツ
大阪事務所

指定有限責任社員 公認会計士 高見勝文
業務執行社員

<財務諸表等監査>

監査意見

当監査法人は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づき、公益財団法人武田科学振興財団の2025年4月1日から2026年3月31日までの2025年度の貸借対照表、損益計算書（公益認定等ガイドライン第5章第2節第1(2)の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）、キャッシュ・フロー計算書及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）及びキャッシュ・フローの状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書並びに財産目録のうち意見の対象とされていない部分である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- 理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。
- 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

<財産目録に対する意見>

財産目録に対する監査意見

当監査法人は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づき、公益財団法人武田科学振興財団の2026年3月31日現在の2025年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

財産目録に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

利害関係

法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

監査報告書

2026年5月11日

公益財団法人 武田科学振興財団

理事長 飯澤 祐史 殿

監事 小原 正敏 ㊟

監事 池田 裕彦 ㊟

私たち監事は、当財団の2025年4月1日から2026年3月31日までの2025年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項（同法第197条において準用する第99条第1項）並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第33条第2項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに、会計監査人から、当該年度の監査計画及び実施した監査手続等の報告を受け、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正に監査を行っていることを確かめました。

以上の方法によって、当該年度に係る貸借対照表及び正味財産増減計算書（正味財産増減計算書内訳表を含む。）並びにその附属明細書並びにキャッシュ・フロー計算書並びに財務諸表に対する注記（以下「財務諸表等」という。）及び財産目録を監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示していると認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する理事会決議及びその体制下の理事の職務の執行は、相当であると認めます。

(2) 財務諸表等及び財産目録の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は、相当であると認めます。

以上